

# 次期山形県道路中期計画 策定に向けて

～市町村道路担当課・県土木OBアンケート～

山形県県土整備部

# 1. アンケートの実施内容／設問項目

◆ アンケートの設問は、今後、山形県において取り組むべき道路施策、冬期の道路通行対策、道路施策全般について、選択及び自由記述を組み合わせる実施

## アンケートの設問

項目	設問	回答方法
Ⅰ. 今後、山形県において取り組んでいくべき道路施策について	• 「 <u>山形県道路中期計画</u> 」における「 <b>10のみちづくり施策</b> 」において、 <u>引き続き取り組みを強化していく必要がある施策</u>	最大5つ選択 (+順位付け)
	• 各施策の主な取り組みとして重要と思うもの	複数可
	• 「 <u>安全・安心</u> 」「 <u>生産性向上・成長力強化</u> 」「 <u>地域活性化・豊かな暮らし</u> 」の各視点における重要と思う施策	最大3(or5)つ選択 (+順位付け)
	• 今後の道路整備を進める上での重要な施策について	自由記述
Ⅱ. 冬期の道路通行対策について	• <u>今後取り組んでほしい冬期の道路通行施策</u>	最大5つ選択 (+順位付け)
	• 冬期道路通行施策を選んだ理由	自由記述
Ⅲ. 山形県の道路施策全般について	• 上記以外で、今後、 <u>特に取り組んで欲しいこと</u>	自由記述

# 1. アンケートの実施内容 アンケート票(1/2)

## 次期道路中期計画の策定に向けたアンケート

### I. 今後、山形県において取り組んでいくべき道路施策についてお聞きします。

【問1】 道路行政の透明化と効率化の向上を図るため、「山形県道路中期計画」を策定し、これに沿った取組みを行っています。この計画で設定されている5つのみちづくり方針と「10のみちづくり施策」において、今後も引き続き取組みを強化していく必要があると思われるものはどれですか？  
 最大5つまでお選びいただき、順位をつけてご回答ください。  
 (1位→①, 2位→②, 3位→③, 4位→④, 5位→⑤) のように『回答欄』へご記入ください  
 あわせて、「10のみちづくり施策」の項目の中でも特に重要と思われる「主な取組み(事例)」について「◎」印をお付けください。(複数可)

### ■山形県道路中期計画(改訂版)の施策体系

6つのみちづくり方針	10のみちづくり施策	回答欄 (①~⑤)	主な取組み(事例)	特に重要と思われるものに◎ (複数可)
1. 活力と交流を生み出すみちづくり (活力・交流)	1. 高速道路・地域高規格道路の整備中區間の供用と未着手区間の着手		<input type="checkbox"/> 高速道路・地域高規格道路の整備	
	2. 高速交通ネットワークの形成と広域化したICアクセス道路等の整備推進		<input type="checkbox"/> 道加ICの整備 <input type="checkbox"/> 高速道路へのアクセス道路の整備 <input type="checkbox"/> 物流ネットワークの整備	
2. 暮らしと地域を支えるみちづくり (暮らし・地域)	3. 生活圏間・主要都市間ネットワークの整備推進		<input type="checkbox"/> 国道、県道の改良 <input type="checkbox"/> バイパスの整備 <input type="checkbox"/> 河川や鉄道橋新部の橋梁整備	
	4. 生活幹線道路ネットワークの整備推進		<input type="checkbox"/> 生活道路や小規模な道路の改良 <input type="checkbox"/> すれ違い困難な箇所の特設所整備	
3. 人と環境を大切にすみちづくり (人・環境)	5. 中心市街地や都市の拠点機能を高める都市基盤の推進		<input type="checkbox"/> 主要渋滞箇所対策 <input type="checkbox"/> 都市内道路整備 <input type="checkbox"/> 鉄道駅や空港、高速バス停等の乗り継ぎ環境整備	
	6. 人に優しい道路空間の整備推進		<input type="checkbox"/> 通学路等の整備 <input type="checkbox"/> 歩道・自転車歩行者道、自転車道の整備 <input type="checkbox"/> 無電柱化(電線類地中化) <input type="checkbox"/> 歩道の消雪	
4. 安全と安心を確保すみちづくり (安全・安心)	7. 緊急輸送道路の強化の推進		<input type="checkbox"/> 道路の路面補強 <input type="checkbox"/> 橋梁の架け替え <input type="checkbox"/> 橋梁の耐震対策 <input type="checkbox"/> 津波対策 <input type="checkbox"/> 落石対策 <input type="checkbox"/> 雪崩対策 <input type="checkbox"/> 崖雪確保 <input type="checkbox"/> 流雪浄整備 <input type="checkbox"/> 防雪柵設置	
	8. 一般道路の機能向上の推進		<input type="checkbox"/> 道路の路面補強 <input type="checkbox"/> 橋梁の架け替え <input type="checkbox"/> 橋梁の耐震対策 <input type="checkbox"/> 津波対策 <input type="checkbox"/> 落石対策 <input type="checkbox"/> 雪崩対策 <input type="checkbox"/> 崖雪確保 <input type="checkbox"/> 流雪浄整備 <input type="checkbox"/> 防雪柵設置	
5. 次の世代に継承できるみちづくり (保全・協働)	9. 予防保全型維持管理による道路施設の長寿命化(山形県橋梁長寿命化計画による修繕等の推進)		<input type="checkbox"/> 橋梁・トンネルの長寿命化 <input type="checkbox"/> 定期的な修繕を行い、道路施設を効率的に管理 <input type="checkbox"/> 舗装を定期的に修繕し、耐用年数を増加 <input type="checkbox"/> 県民協働の取組 <input type="checkbox"/> 橋梁除雪	
	10. 県民協働と効率的な道路維持管理の推進		<input type="checkbox"/> 橋梁・トンネルの長寿命化 <input type="checkbox"/> 定期的な修繕を行い、道路施設を効率的に管理 <input type="checkbox"/> 舗装を定期的に修繕し、耐用年数を増加 <input type="checkbox"/> 県民協働の取組 <input type="checkbox"/> 橋梁除雪	

↑  
この欄に  
順位を記入

(裏面に続く)

【問2】 新たな道路整備に向けて、「安全・安心の確保」「生産性向上・成長力強化」「地域活性化・豊かな暮らし」といった視点による主要な施策として以下のような項目が考えられます。  
 (※国土交通省道路局のH29年度概算要求にかかる資料より)  
 今後の山形県の道路整備を進める上で、重要と思われる施策はどのようなものと考えられますか。  
 各視点毎に重要と思う施策を最大3つまで(視点3については5つまで)お選びください。  
 (1位→①, 2位→②, 3位→③, 4位→④, 5位→⑤) のように『回答欄』へご記入ください

### ■(参考)H29年度 道路関係予算概算要求概要資料(H28.8)

視点	主要施策	Keyword	回答欄
1.国民の安全・安心の確保	(1) 道路の老朽化対策の本格実施	<input type="checkbox"/> 維持管理、道路施設の修繕	左のうち最大3つまで
	(2) 道路の防災・震災対策	<input type="checkbox"/> 防災対策、除雪体制の強化	
	(3) 無電柱化の推進	<input type="checkbox"/> 無電柱化、良好な景観形成	
	(4) 生活道路・通学路の安全対策	<input type="checkbox"/> 生活道路、通学路	
	(5) 自転車の安全対策	<input type="checkbox"/> 自転車走行空間整備	
	(6) 踏切対策の推進	<input type="checkbox"/> 踏切対策、立体交差点化	
	(7) 高速道路における安全対策の推進	<input type="checkbox"/> 逆走等の高速道路の安全対策	
	(8) ユニバーサルデザイン化の推進	<input type="checkbox"/> 高齢者・障がい者支援のためのユニバーサルデザイン	
2.生産性向上による成長力の強化	(1) ネットワークを賢く使う	<input type="checkbox"/> 既存の道路を上手に使う	左のうち最大3つまで
	(2) 物流対策の推進	<input type="checkbox"/> 物流、トラック輸送と空港・港湾の連携	
	(3) 大型車両の通行の適正化	<input type="checkbox"/> 大型車両積載の防止	
	(4) ストック効果を高める取組	<input type="checkbox"/> 道路整備による相乗効果を目指す取組み	
	(5) IT・ビッグデータを活用した地域道路経済戦略の推進	<input type="checkbox"/> ビッグデータ	
	(6) ITSの活用による自動運転等の支援	<input type="checkbox"/> 高度道路交通システム、自動運転	
3.地域の活性化と豊かな暮らしの実現	(1) 道路ネットワークによる地域・拠点の連携確保	<input type="checkbox"/> 地域・拠点の連携	左のうち最大3つまで
	(2) モーダルコネクの強化	<input type="checkbox"/> モーダルコネク(交通結節点)	
	(3) シェアリングの活用推進	<input type="checkbox"/> カーシェア、シェアサイクル	
	(4) スマートIC事業の積極的活用	<input type="checkbox"/> スマートIC	
	(5) 高速道路の休憩施設の活用による拠点の形成	<input type="checkbox"/> 休憩施設(バリエイション)	
	(6) 「道の駅」による地域活性化の推進	<input type="checkbox"/> 道の駅	
	(7) 高速道路におけるPPPの活用	<input type="checkbox"/> 官民パートナーシップ (民間の資金・ノウハウの活用)	
	(8) 立体道路制度の活用や民間所有地の一体利用・道路空間の再配分	<input type="checkbox"/> 道路空間の再配分	
	(9) 民間との連携による道路空間の魅力向上	<input type="checkbox"/> 官民連携	
	(10) 観光振興の推進	<input type="checkbox"/> 観光	
	(11) 2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会を見据えた取組	<input type="checkbox"/> オリンピック・パラリンピック	

↑  
この欄に  
順位を記入

(次頁に続く)

# 1. アンケートの実施内容 アンケート票(2/2)

【問3】問1、問2で回答された“今後の道路整備を進める上で重要と思われる施策”を選ばれた理由を教えてください。

<記入欄>

**II. 冬期の道路通行対策についてお聞きします。**

【問1】豪雪地帯である山形県では、冬期の道路通行対策が特に必要な地域となっております。以下にあげる冬期の道路通行対策のうち、特に今後取り組んでほしい施策を最大5つまでご回答ください。  
(1位→①、2位→②、3位→③、4位→④、5位→⑤)のように『回答欄』へご記入ください)

冬期の道路通行施策	回答欄	(例)
1. 堆雪幅を確保する道路の整備		④
2. 冬期歩行可能な歩道の整備		
3. 冬期安全通行を図る防雪柵、雪崩予防柵の整備		⑤
4. 流雪溝の整備		
5. 散水、無散水消雪の更新		
6. 機械除雪(車道)の充実		③
7. 機械除雪(歩道)の充実		
8. 地域住民との共同除排雪、マイロードサポート(歩道除雪)等の推進		①
9. 事前通行規制等によるスタック車輛の防止対策		
10. 雪道走行、除雪への協力等の広報の充実		②



【問2】問1で回答された“冬期の道路通行対策”を選ばれた理由を教えてください。

<記入欄>

(裏面に続く)

**III. 最後に山形県の道路施策全般についてお聞きします。**

【問1】本アンケートのI、IIの設問以外で、山形県の道路施策として、今後特に取り組んで欲しいことについて記入ください。

<記入欄>

以上でアンケートは終わりです。ご協力ありがとうございました。

※ 差し支えなければご記入された方の御氏名をお書き下さい。

回答者 御氏名: \_\_\_\_\_

御住所: \_\_\_\_\_

# 1. アンケートの実施状況 配布・回収状況

- ◆ 次期道路中期計画の策定に向けたアンケートを、県土木OB（過去に県庁の道路担当課に在籍していた方）および市町村道路担当課に対して実施。
- ◆ アンケート実施期間：平成29年1月24日（火）～2月2日（木）

## 配布枚数・回収数

	配布数	回収数	回収率
県土木OB	154票 (144票)	77票	50% (53%)
市町村 道路担当課	35票	35票	100%

※県土木OBの下段()書きは  
宛所不明や病氣療養等の方を除いた数値

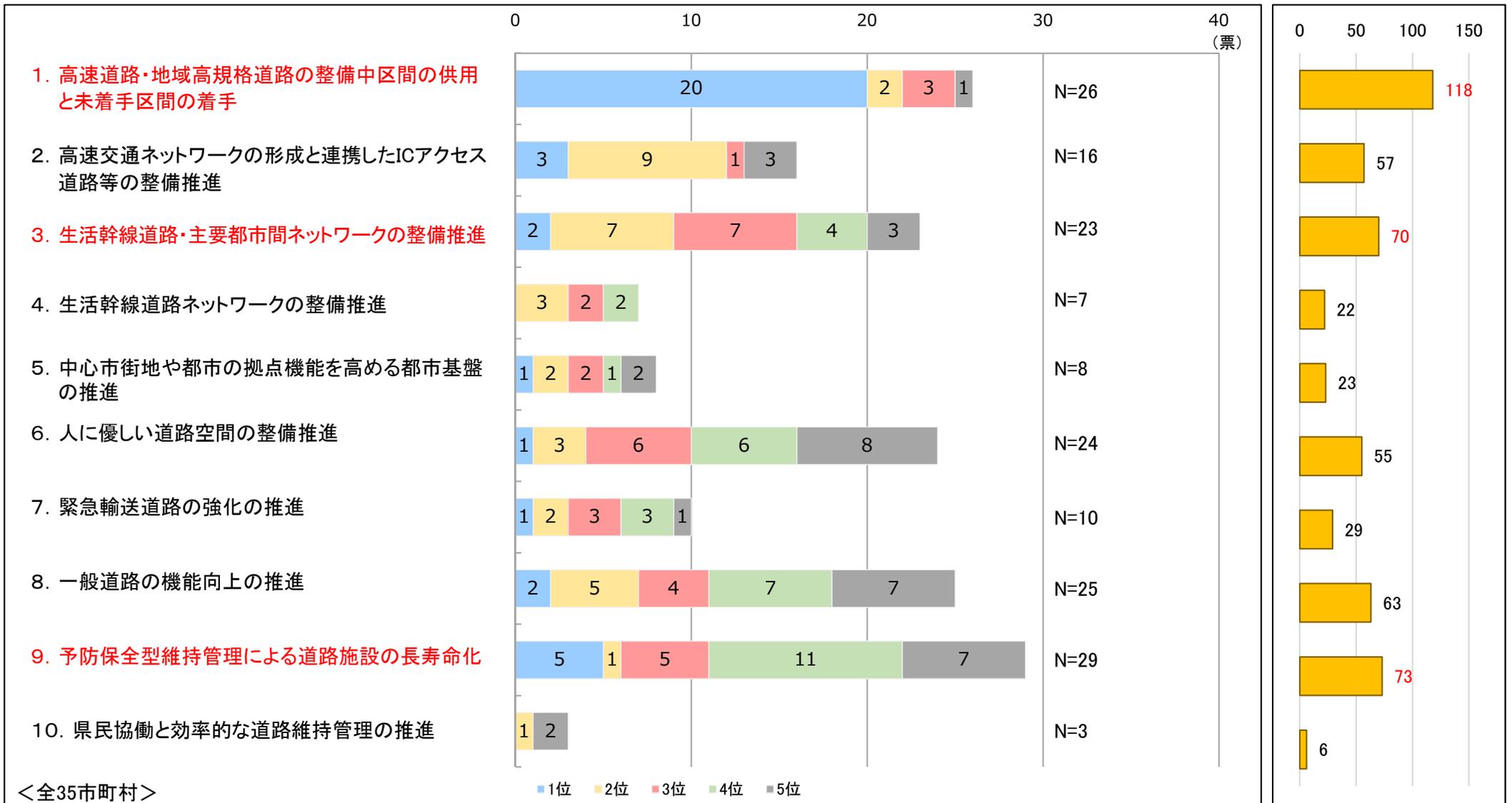
# 2. アンケート結果(市町村-全体)

## I-問1 県の中期計画への設問

◆ 引き続き取り組みを強化していく必要がある施策として、「高速道路・地域高規格道路の整備」「幹線道路ネットワークの整備」「道路施設の長寿命化」が挙げられた。

### 引き続き取り組みを強化していく必要がある施策

※最大5つまで選択



<全35市町村>

■ 1位 ■ 2位 ■ 3位 ■ 4位 ■ 5位

※1位:5点 2位:4点 3位:3点 4位:2点 5位:1点として算出 5

# 2. アンケート結果(市町村-地域別)

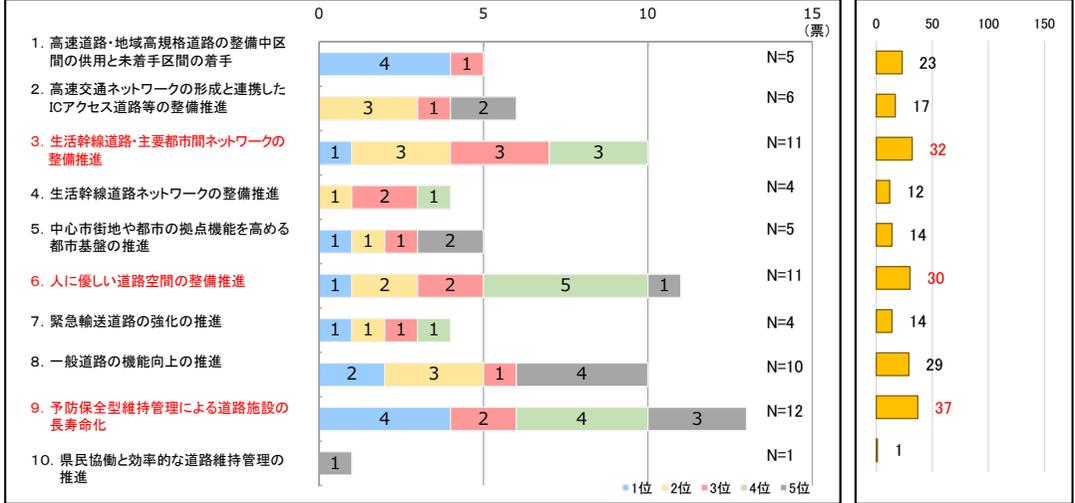
# I-問1 県の中長期計画への設問

◆ 高速道路が未整備となっている、最上・置賜・庄内の3地域は「高速道路整備」に関する項目が挙げられ、村山地域では、「生活幹線道路の整備」「道路空間の整備」が挙げられている。

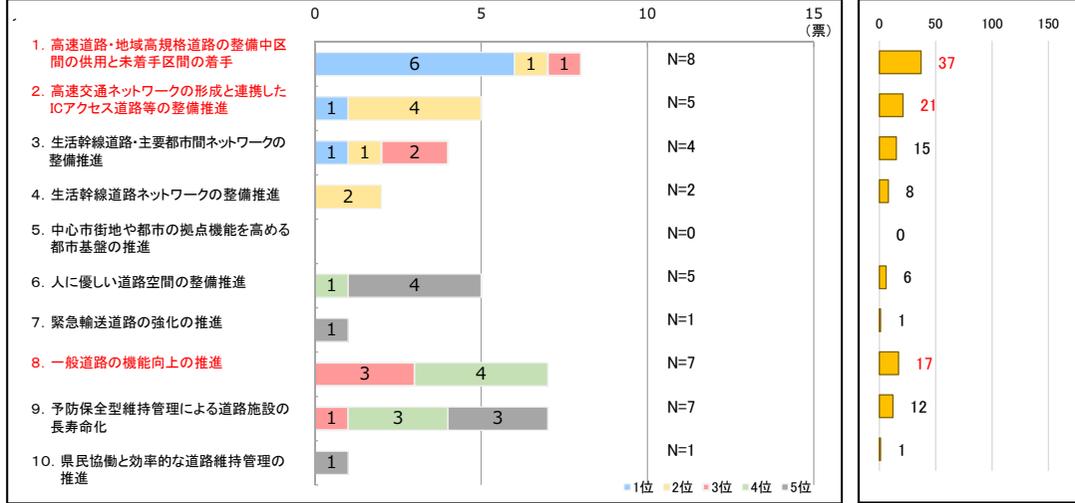
## 引き続き取り組みを強化していく必要がある施策

※最大5つまで選択

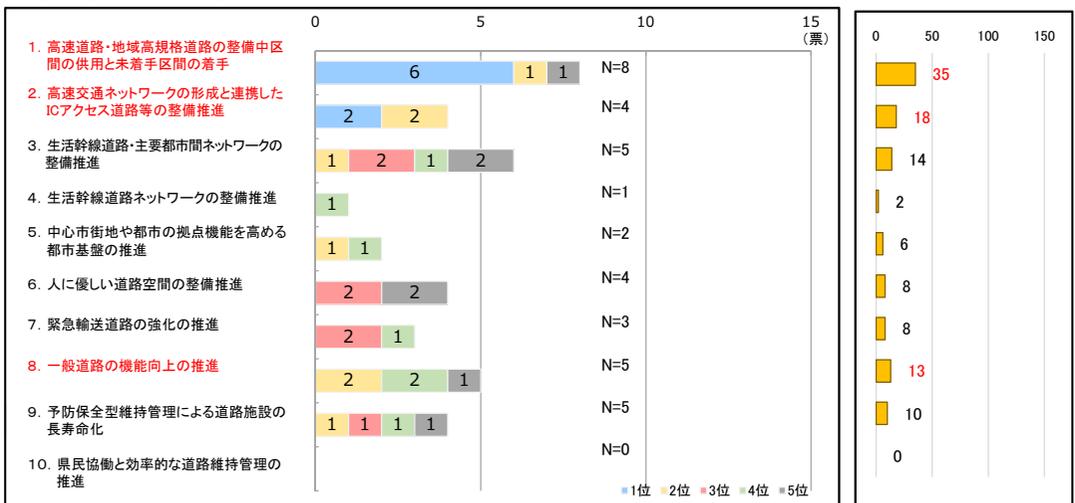
### ●村山地域 (14市町村)



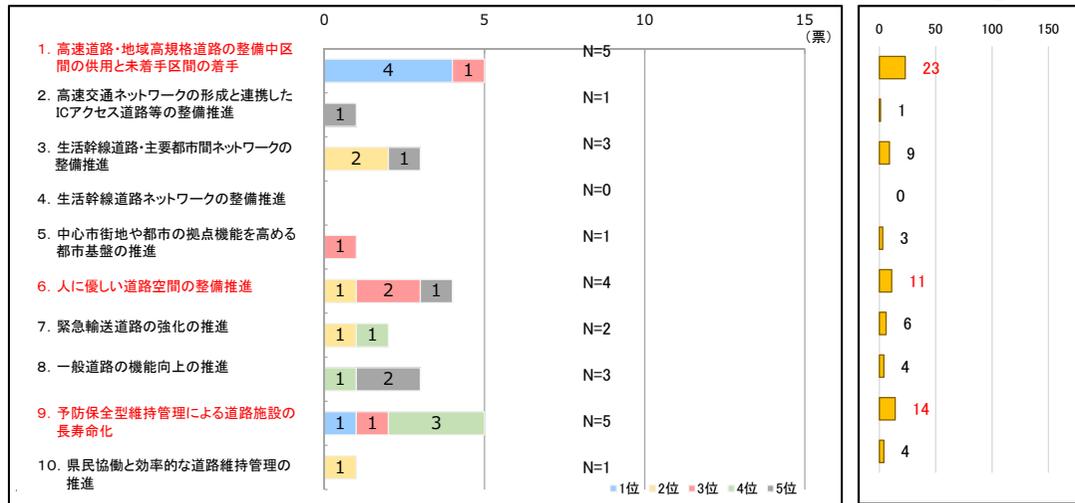
### ●最上地域 (8市町村)



### ●置賜地域 (8市町村)



### ●庄内地域 (5市町村)

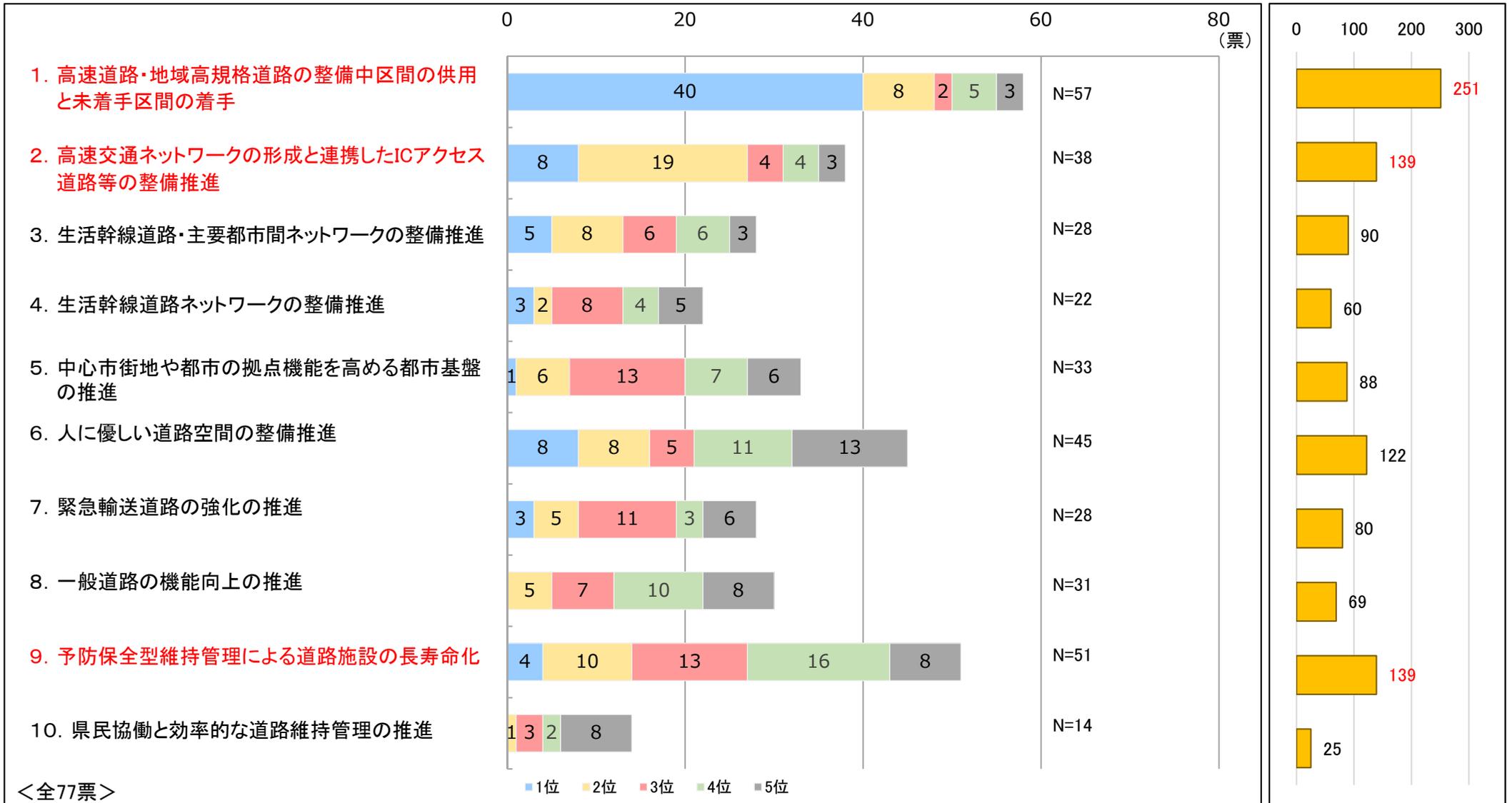


# 2. アンケート結果(県土木OB) I-問1 県の中期計画への設問

◆ 引き続き取り組みを強化していく必要がある施策として、市町村職員と同様に「高速道路・地域高規格道路の整備」「道路施設の長寿命化」、また「ICアクセス道路の整備」が挙げられた。

## 引き続き取り組みを強化していく必要がある施策

※最大5つまで選択



※1位:5点 2位:4点 3位:3点 4位:2点 5位:1点として算出 7

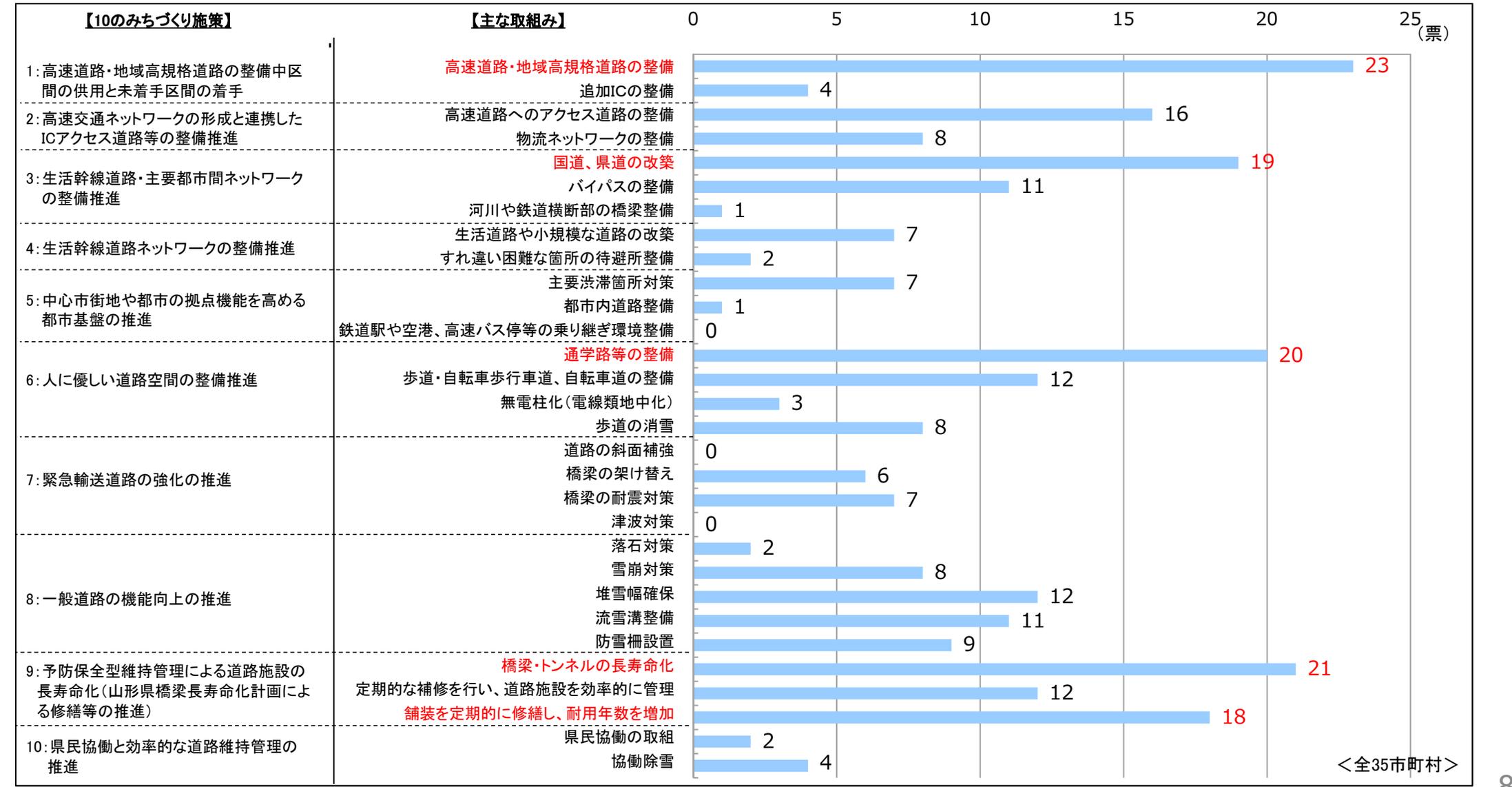
# 2. アンケート結果(市町村-全体)

# I-問1 県の中長期計画への設問

◆ 重要と思われる取り組みとして「高速道路・地域高規格道路の整備」「橋梁・トンネルの長寿命化」「通学路の整備」「国道、県道の改築」「舗装の定期的修繕」が上位5位に選ばれた。

## 各施策の主な取り組みとして重要と思うもの

※いくつでも選択可



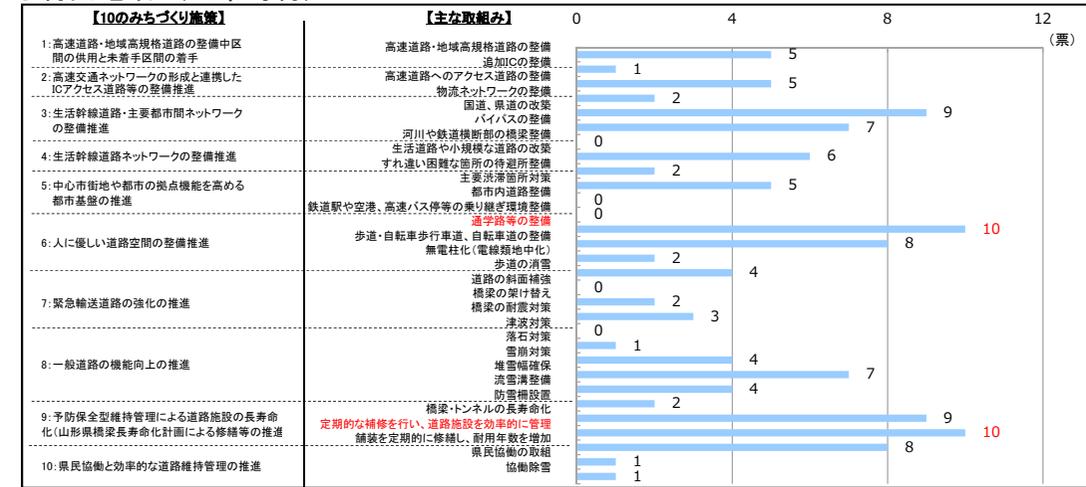
<全35市町村>

# 2. アンケート結果（市町村-地域別） I-問1 県の中期計画への設問

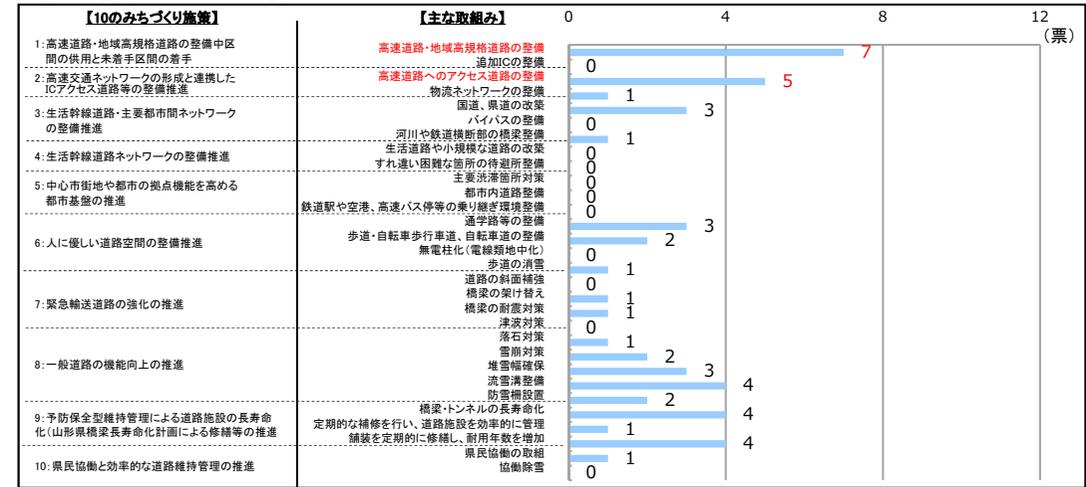
◆ 重要と思われる取り組みとして村山地域は「通学路の整備／補修・維持管理」、最上・置賜・庄内地域は「高速道路整備」が挙げられている。

各施策の主な取組みとして重要と思うもの ※いくつかでも選択可

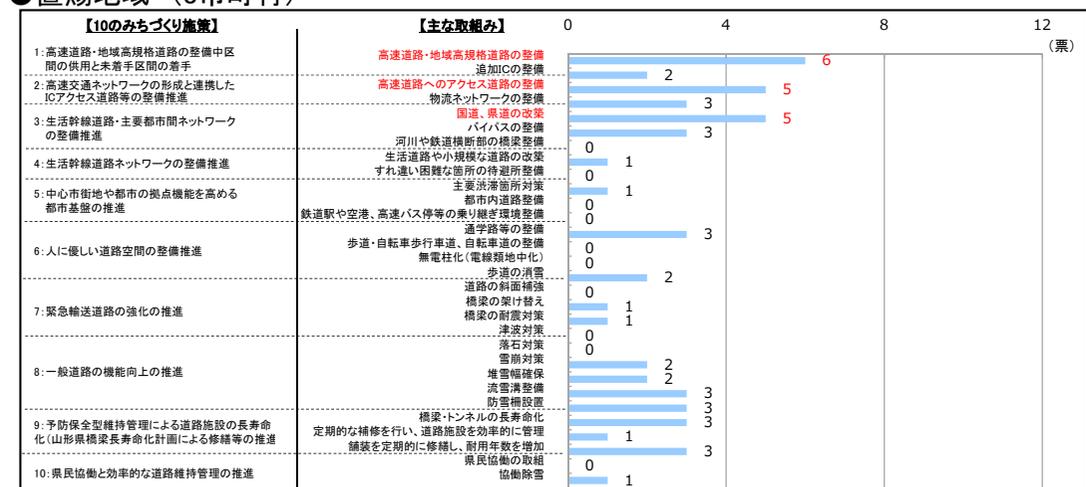
## ●村山地域（14市町村）



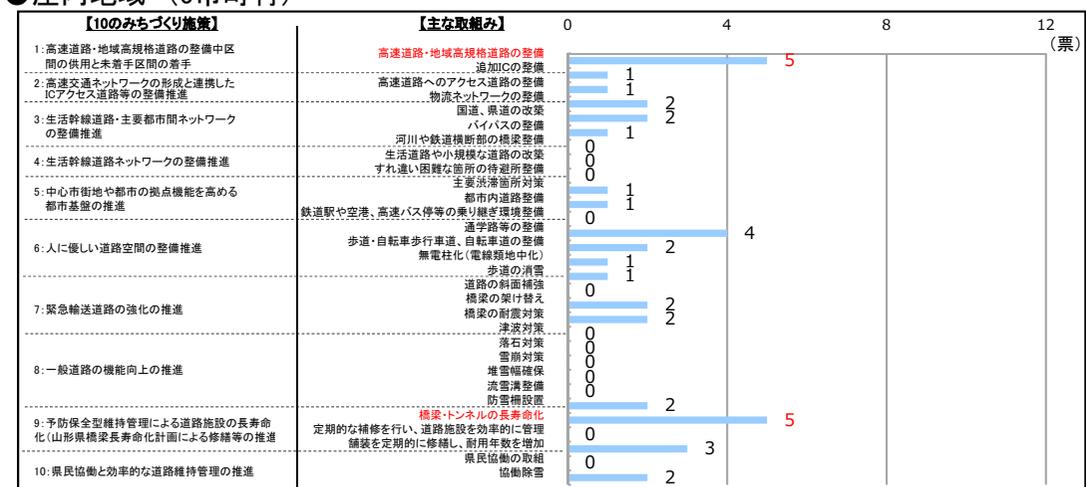
## ●最上地域（8市町村）



## ●置賜地域（8市町村）



## ●庄内地域（5市町村）

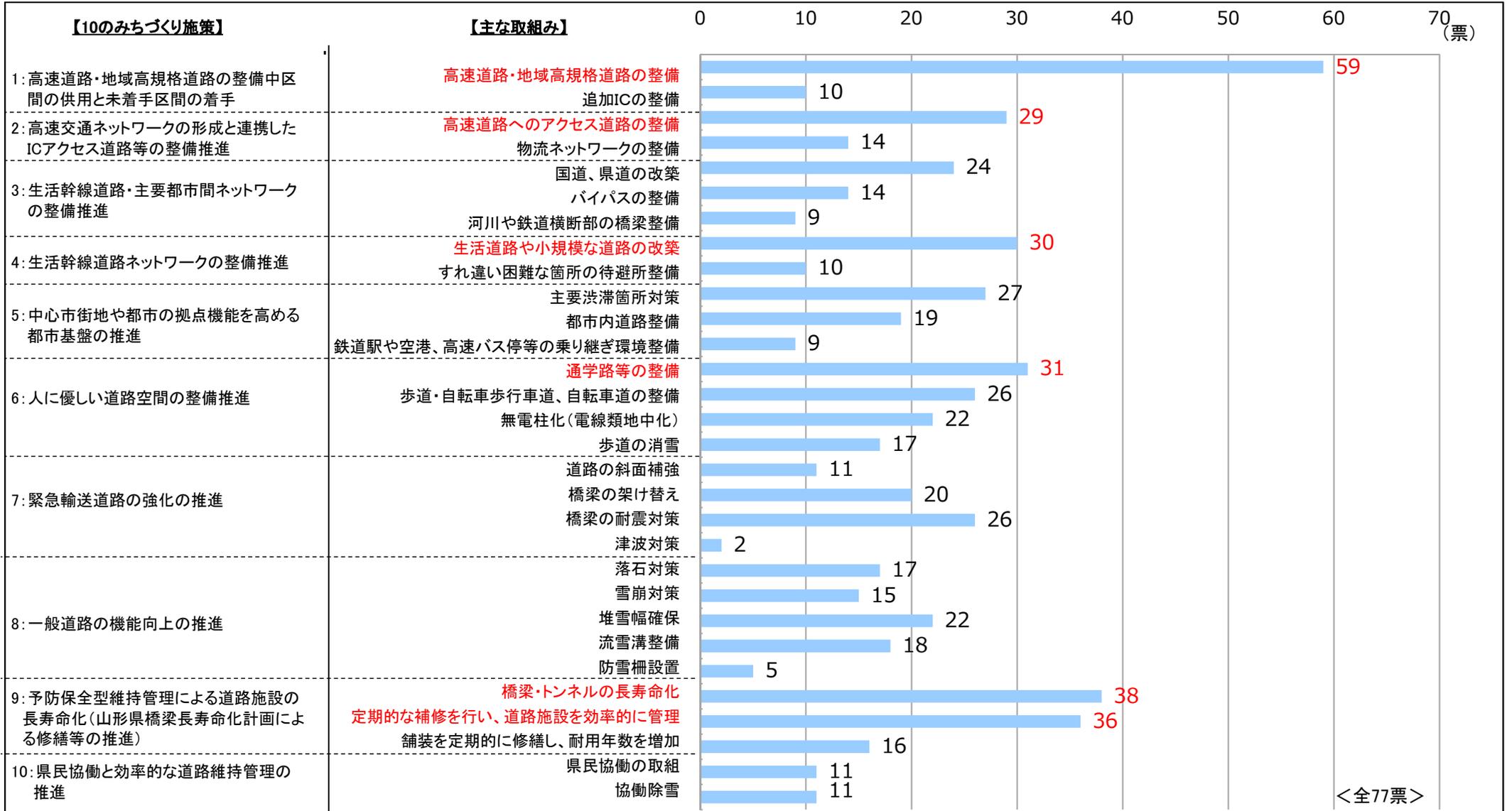


# 2. アンケート結果(県土木OB) I-問1 県の中期計画への設問

◆ 重要と思われる取り組みとして「高速道路・地域高規格道路の整備」「橋梁・トンネルの長寿命化」「通学路の整備」が同様に選ばれ、「定期的な補修」「高速道路アクセスの整備」「生活道路の改築」が選ばれた。

## 各施策の主な取り組みとして重要と思うもの

※いくつでも選択可



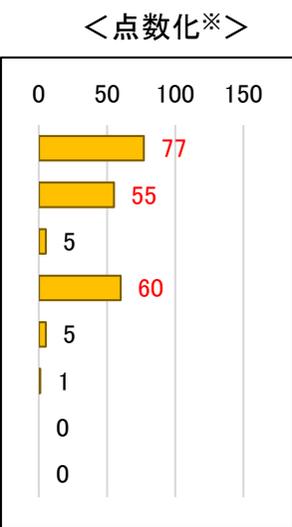
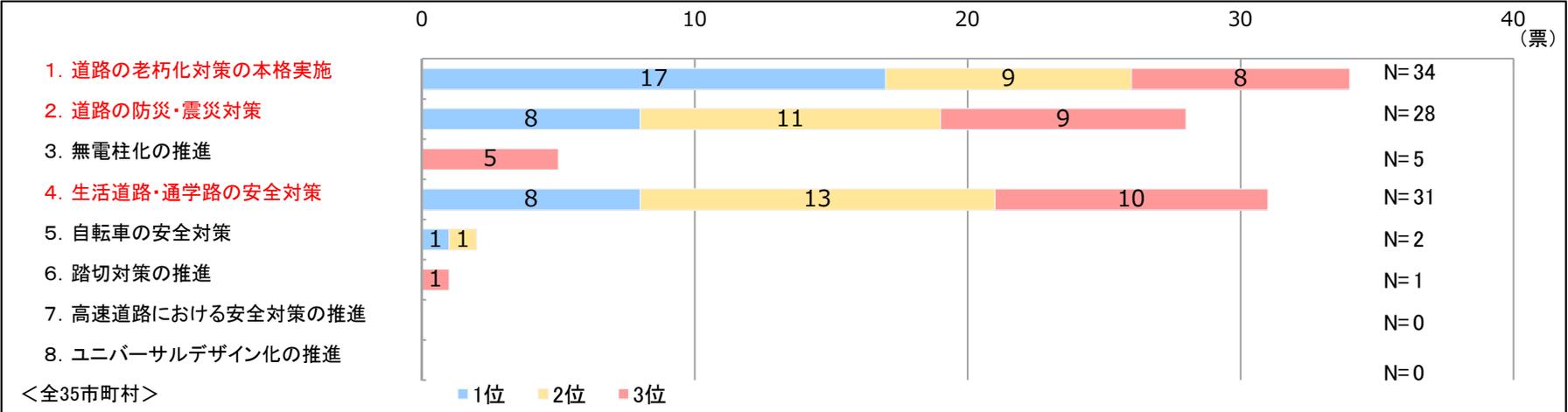
<全77票>

# 2. アンケート結果(市町村-全体) I-問2 国の提示した施策項目への設問

- ◆ 安全・安心面で、重要とされる新たな施策として「道路の老朽化対策」「道路の防災・震災対策」「生活道路の安全対策」が選ばれた。
- ◆ 生産性向上面では、「ネットワークを賢く使う」「物流対策」「ストック効果」が選ばれた。

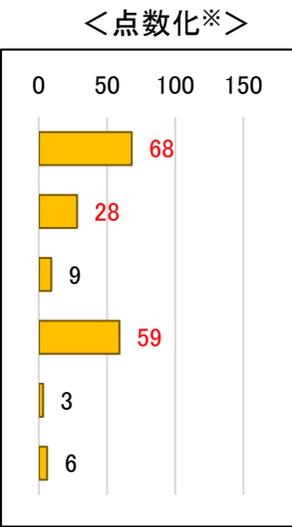
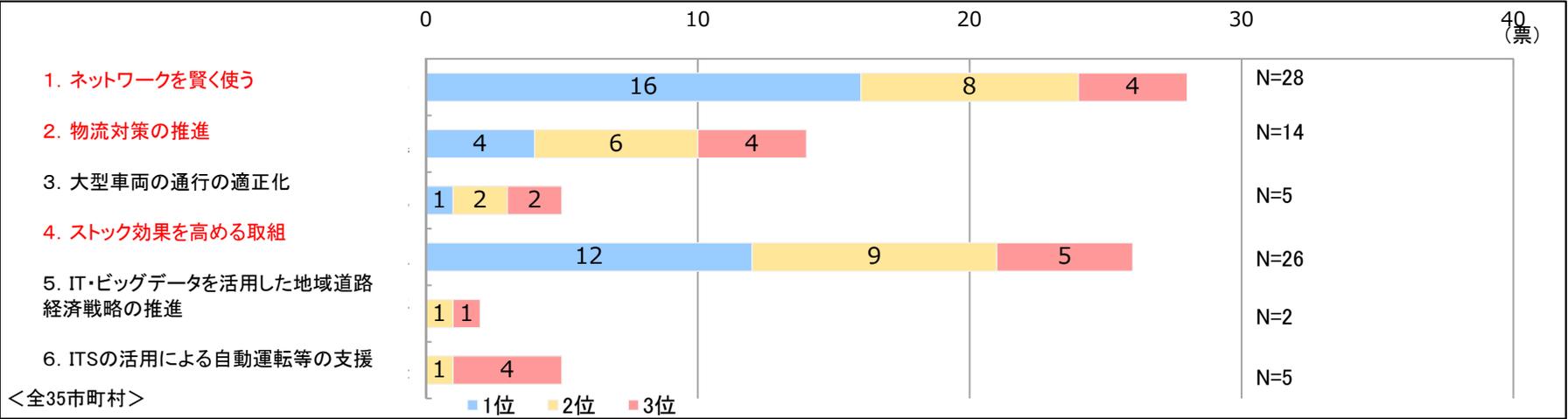
## 「国民の安全・安心の確保」の視点で重要と思う施策

※最大3つまで選択



## 「生産性向上による成長力強化」の視点で重要と思う施策

※最大3つまで選択



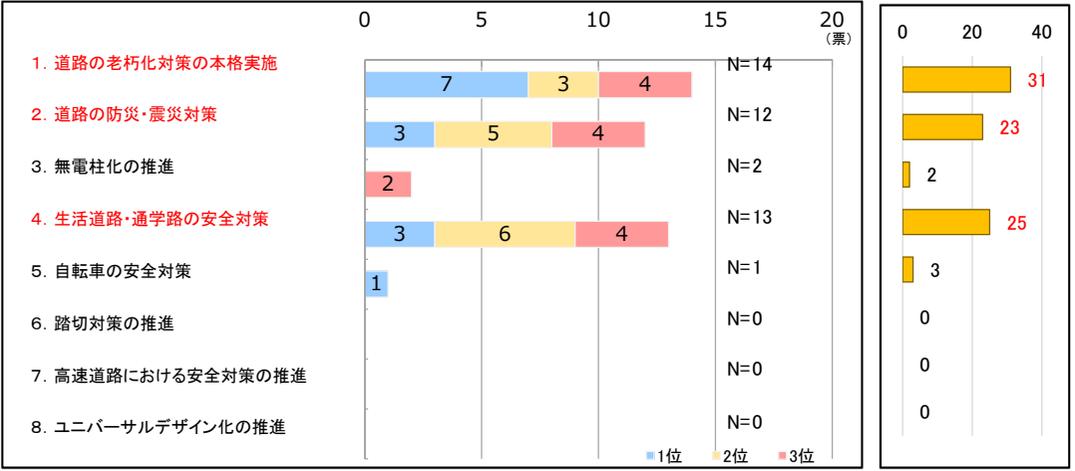
# 2. アンケート結果（市町村-地域別） I-問2 国の提示した施策項目への設問

◆ 安全・安心面で、重要とされる新たな施策として「道路の老朽化対策」「道路の防災・震災対策」「生活道路の安全対策」が各地域とも同じように選ばれている。

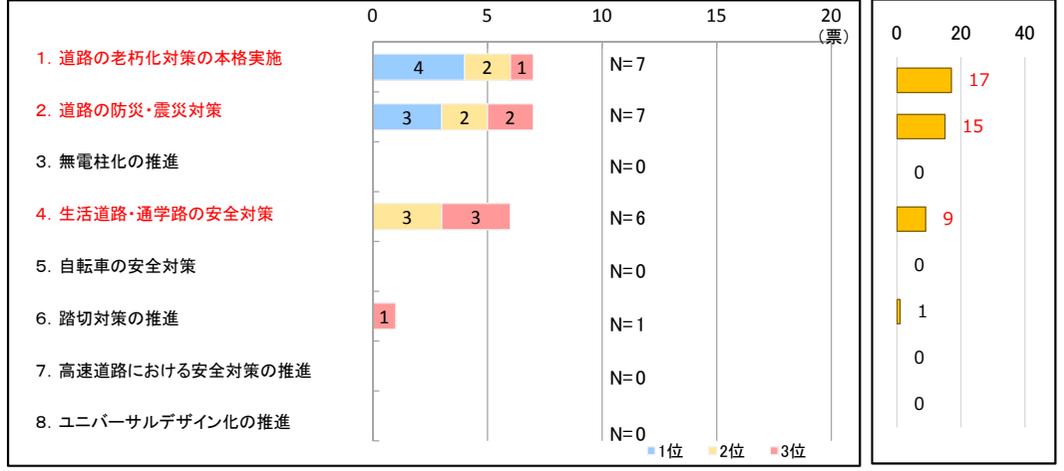
## 「国民の安全・安心の確保」の視点で重要と思う施策

※最大3つまで選択

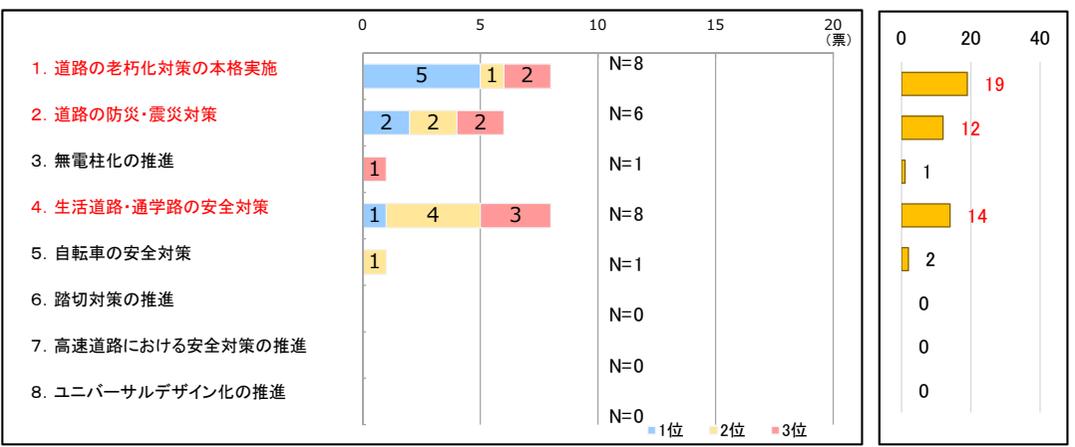
### ●村山地域（14市町村）



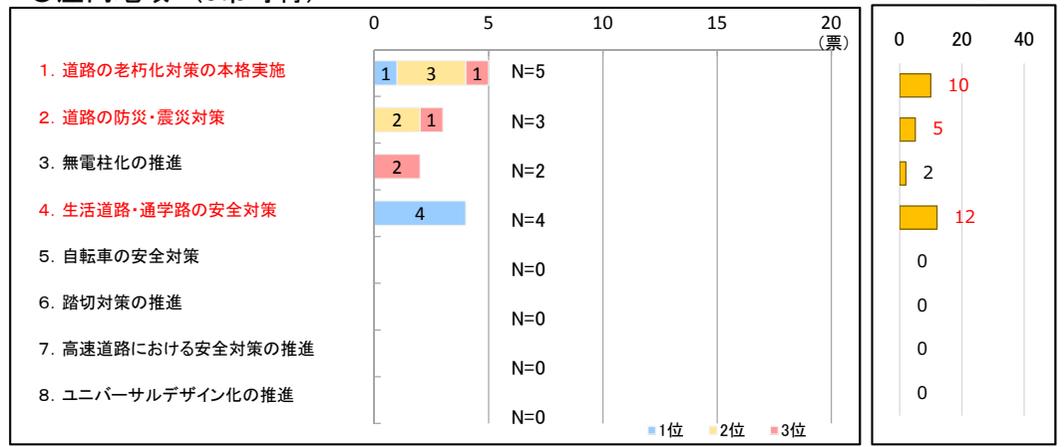
### ●最上地域（8市町村）



### ●置賜地域（8市町村）



### ●庄内地域（5市町村）



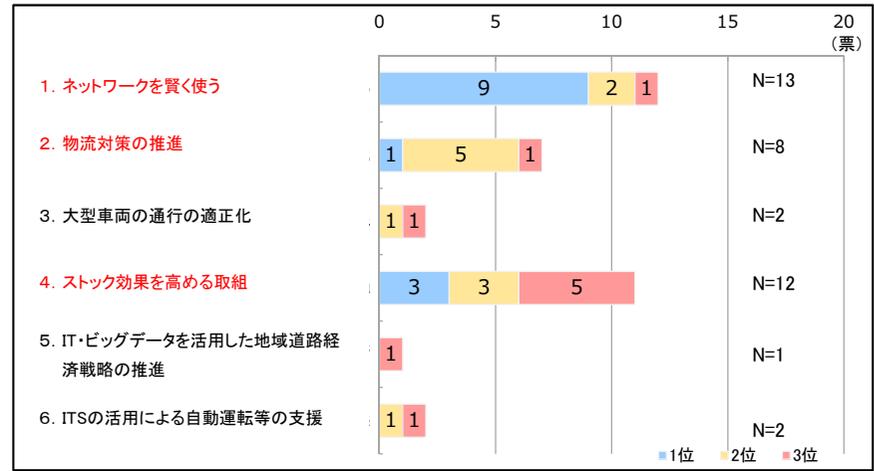
# 2. アンケート結果（市町村-地域別） I-問2 国の提示した施策項目への設問

◆ 生産性向上面で、重要とされる新たな施策として「ネットワークを賢く使う」「物流対策の推進」「ストック効果を高める取組」が各地域とも同じように選ばれている。

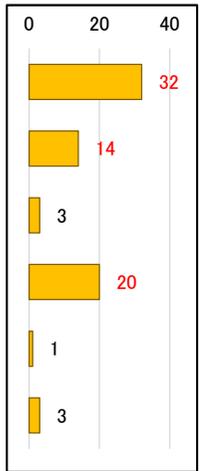
## 「生産性向上による成長力強化」の視点で重要と思う施策

※最大3つまで選択

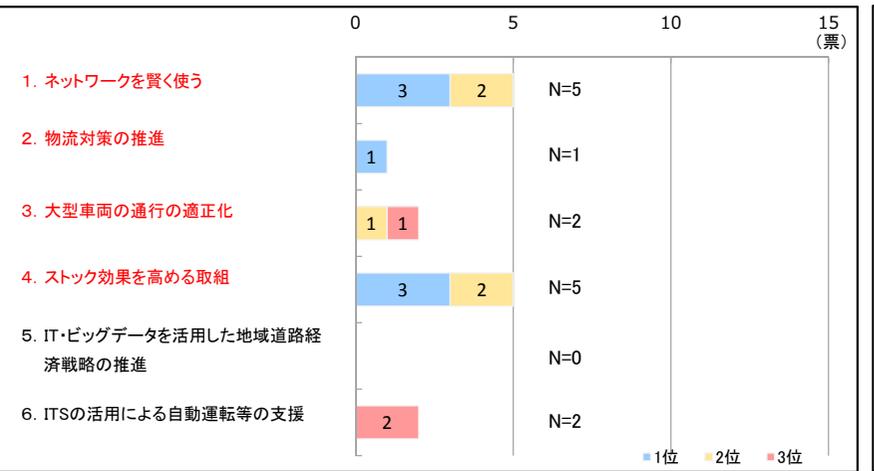
### ●村山地域（14市町村）



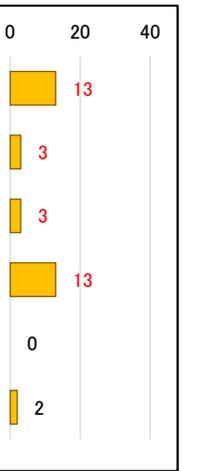
### <点数化※>



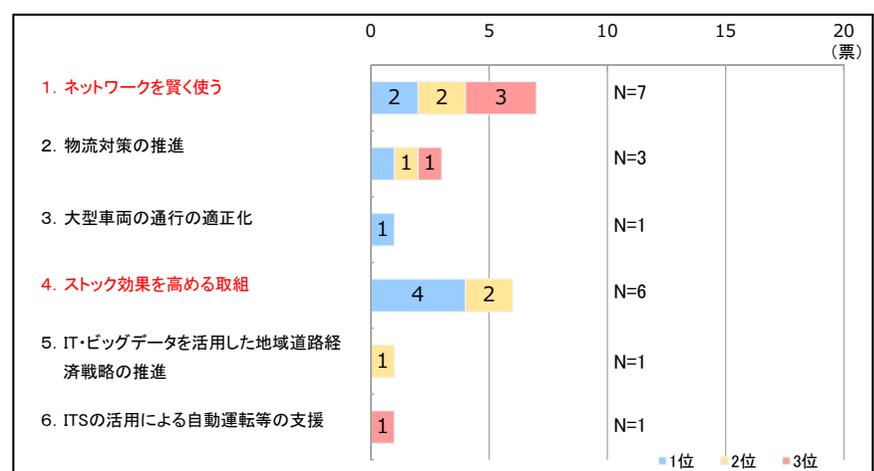
### ●最上地域（8市町村）



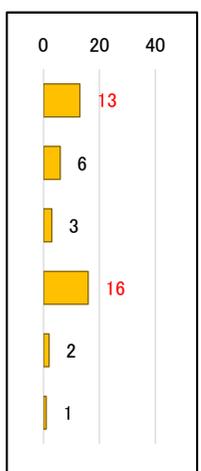
### <点数化※>



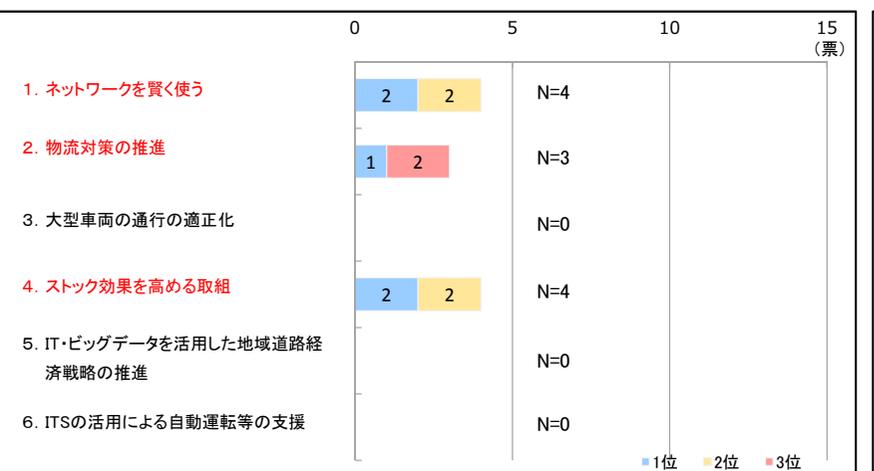
### ●置賜地域（8市町村）



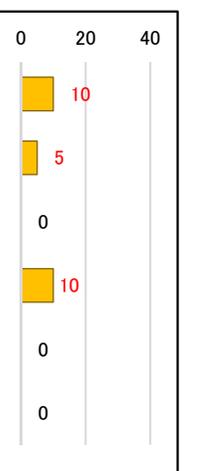
### <点数化※>



### ●庄内地域（5市町村）



### <点数化※>



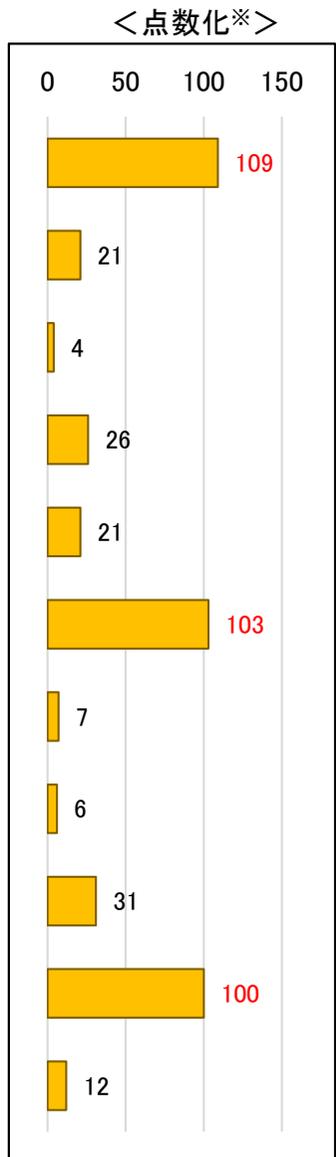
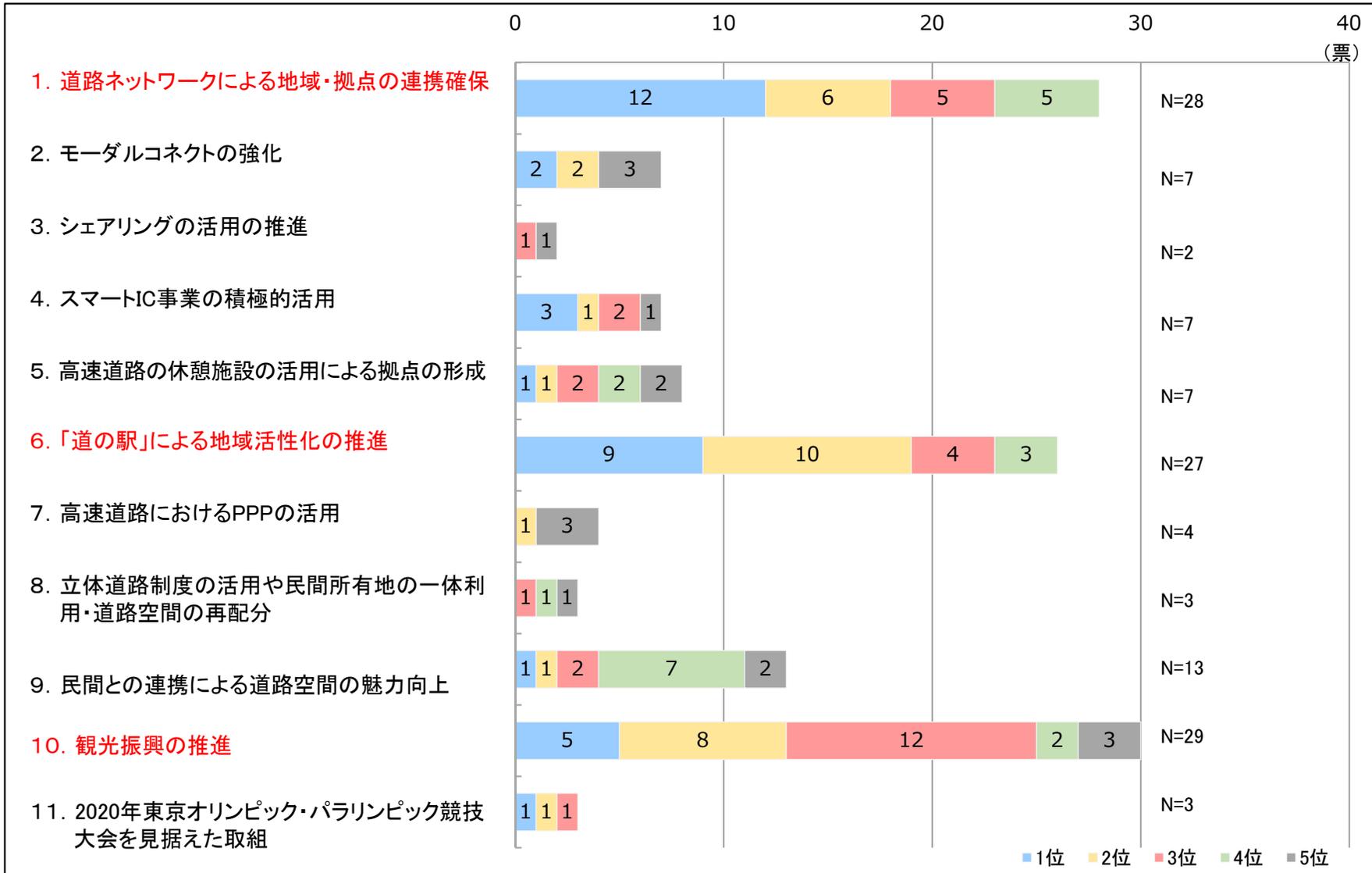
# 2. アンケート結果(市町村-全体)

## I-問2 国の提示した施策項目への設問

◆ 地域の活性化等の視点では、「道路ネットワークによる地域・拠点の連携」「道の駅による地域活性化」「観光振興の推進」が選択された。

### 「地域の活性化と豊かな暮らしの実現」の視点で重要と思う施策

※最大5つまで選択



※1位:5点 2位:4点 3位:3点 4位:2点 5位:1点として算出 14

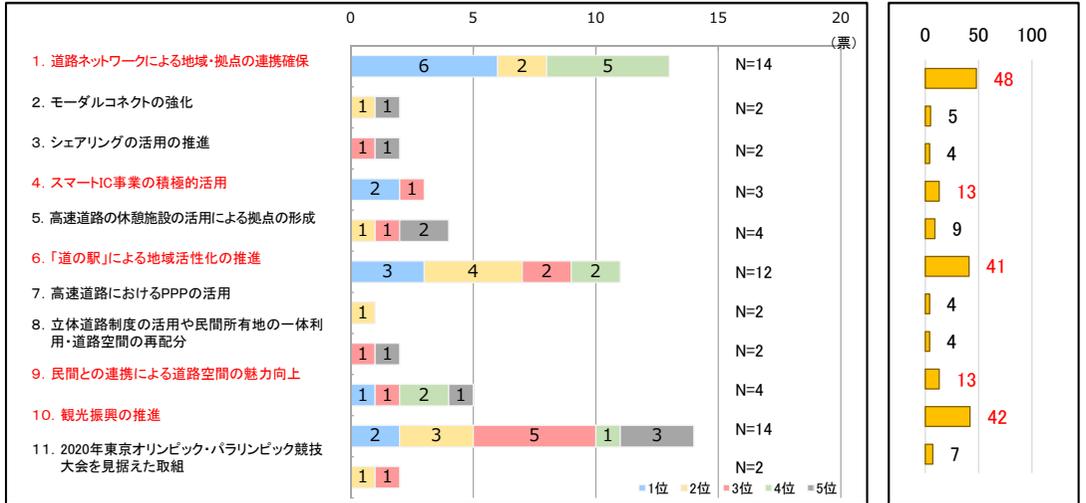
# 2. アンケート結果（市町村-地域別） I-問2 国の提示した施策項目への設問

◆ 地域の活性化面で、重要とされる新たな施策として「道路ネットワークによる地域・拠点の連携確保」「『道の駅』による地域活性化の推進」「民間との連携による道路空間の魅力向上」「観光振興の推進」が各地域とも同じように選ばれている。

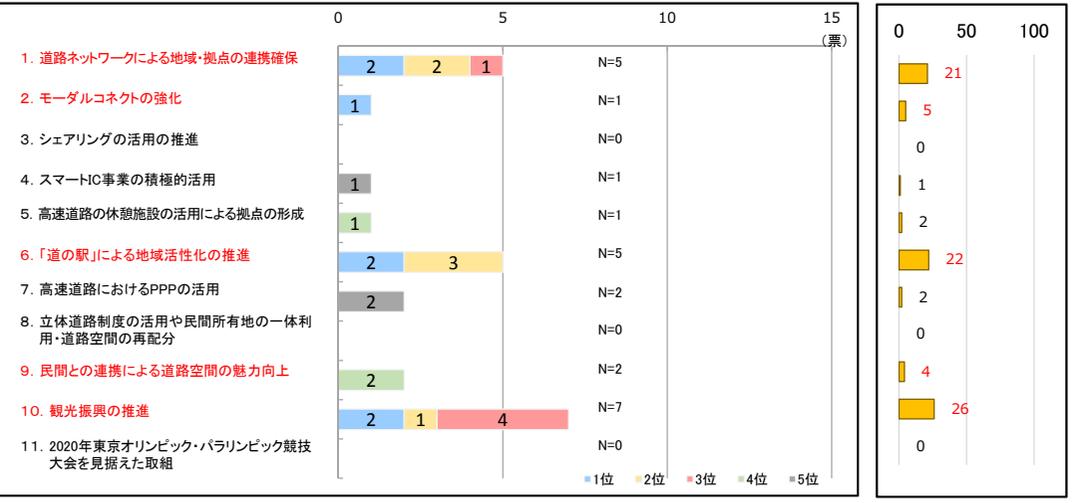
## 「地域の活性化と豊かな暮らしの実現」の視点で重要と思う施策

※最大5つまで選択

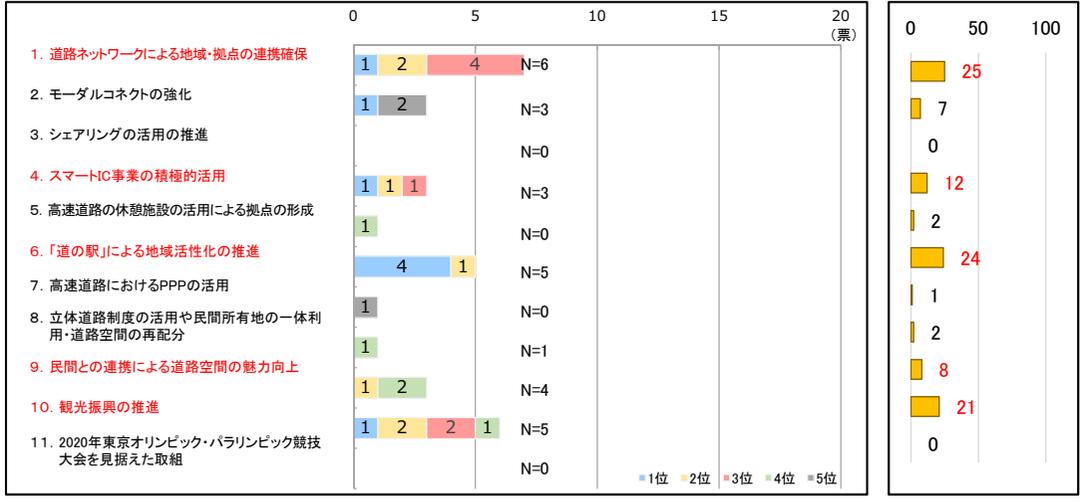
### ●村山地域（14市町村）



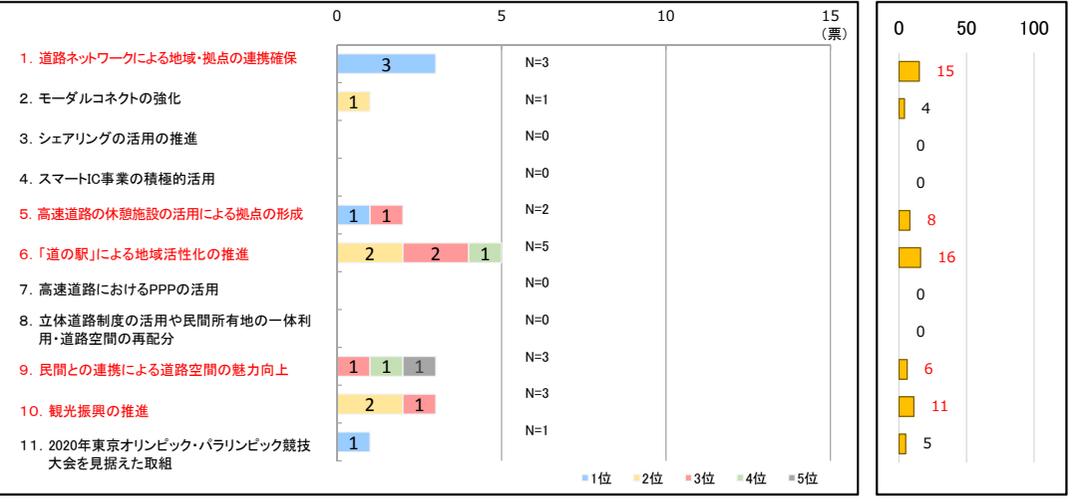
### ●最上地域（8市町村）



### ●置賜地域（8市町村）



### ●庄内地域（5市町村）

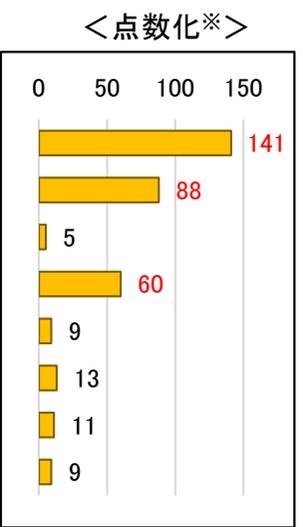
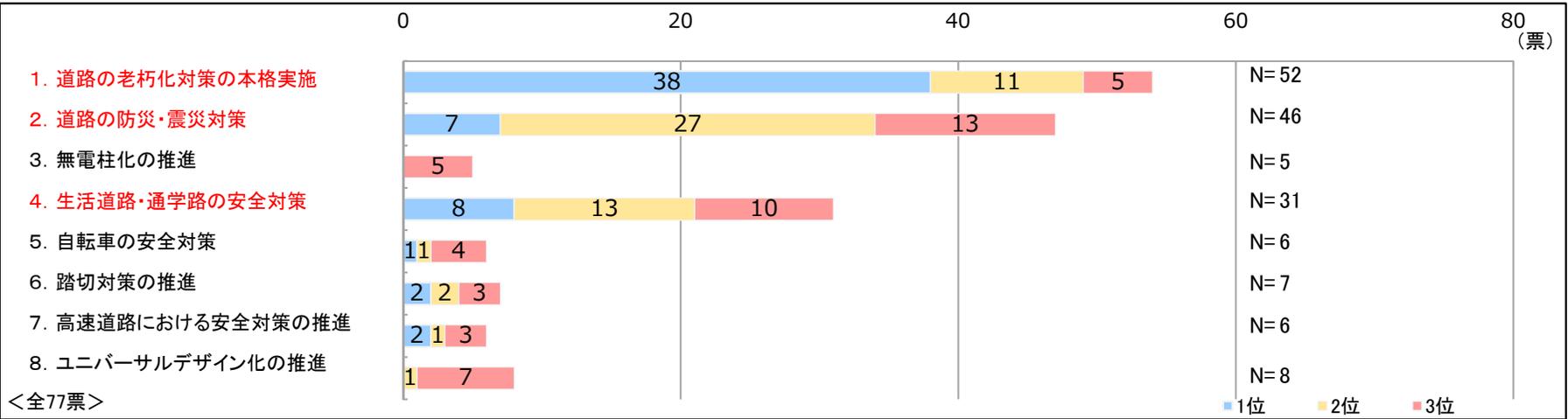


# 2. アンケート結果(県土木OB) I-問2 国の提示した施策項目への設問

- ◆ 安全・安心面で、重要とされる新たな施策として「道路の老朽化対策」「道路の防災・震災対策」「生活道路の安全対策」が選ばれ、同じ結果となった。
- ◆ 生産性向上面では、「ネットワークを賢く使う」「物流対策」「ストック効果」が選ばれ、同じ結果となった。

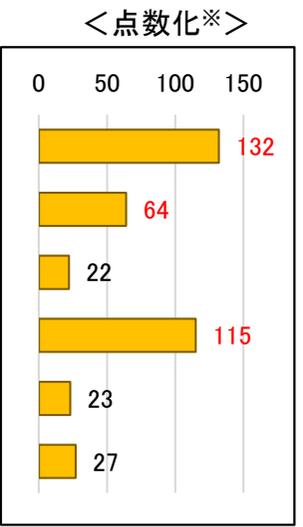
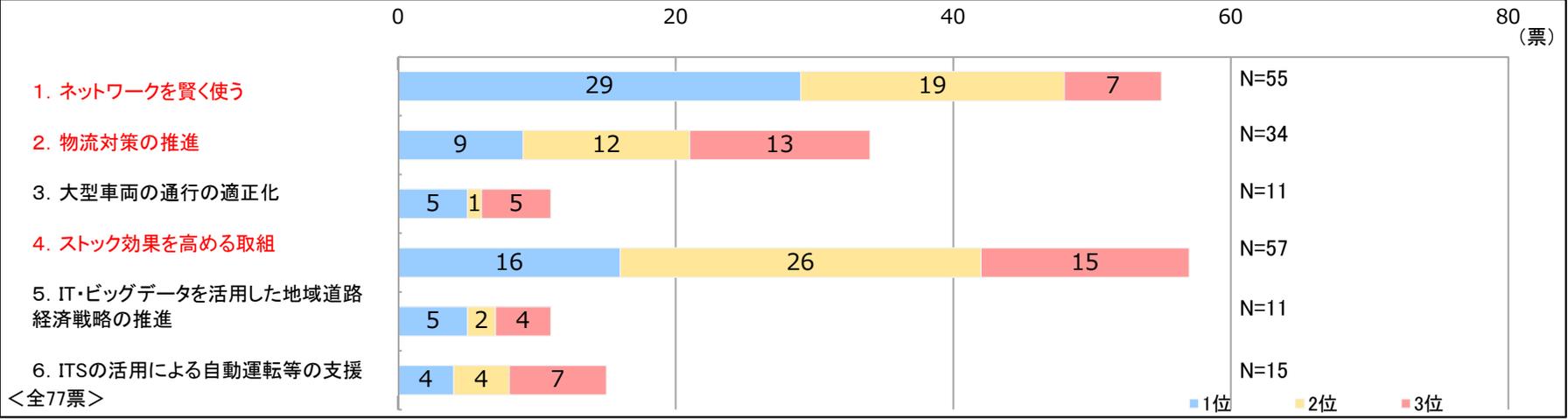
## 「国民の安全・安心の確保」の視点で重要と思う施策

※最大3つまで選択



## 「生産性向上による成長力強化」の視点で重要と思う施策

※最大3つまで選択



# 2. アンケート結果(県土木OB)

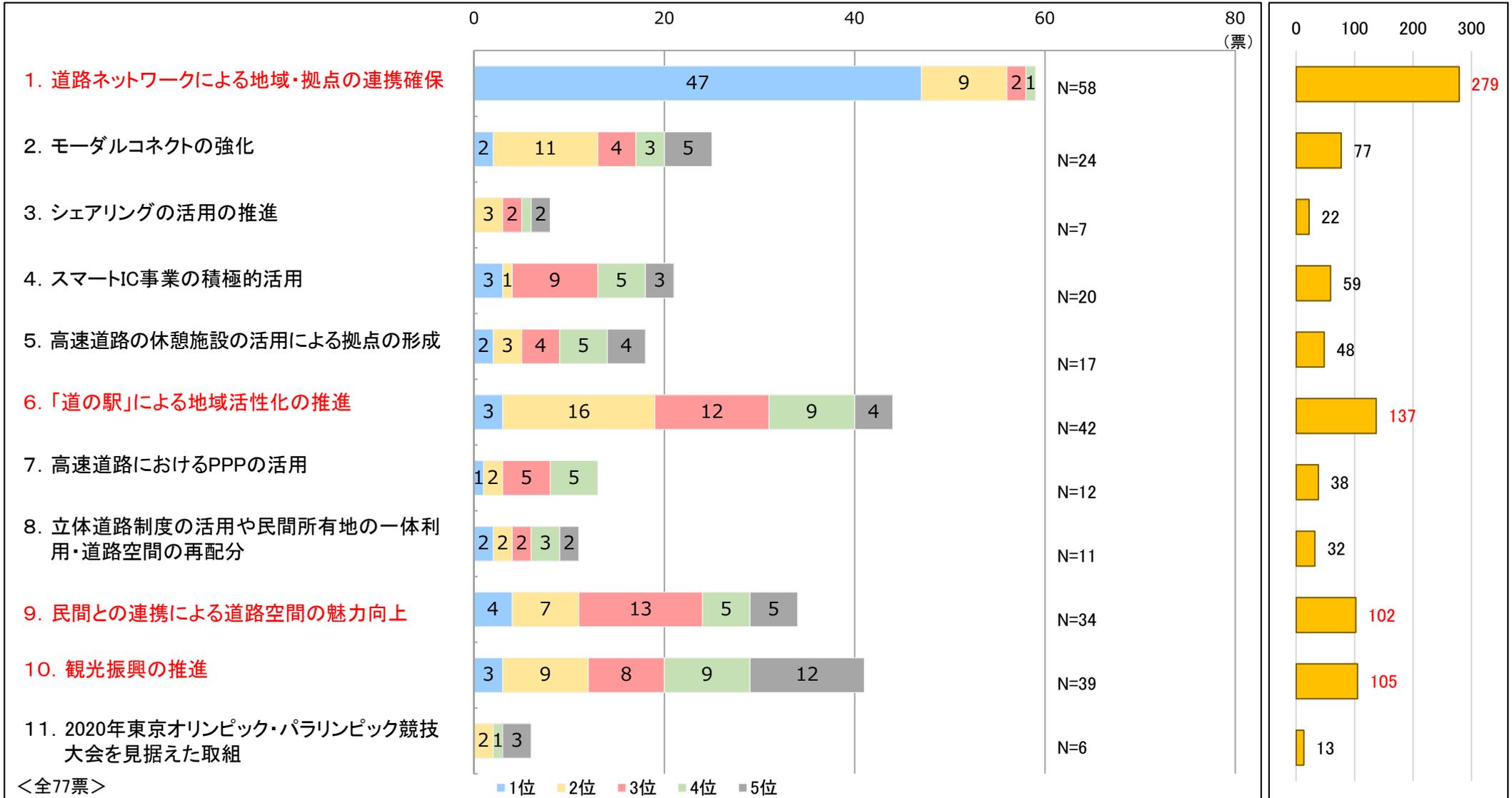
## I-問2 国の提示した施策項目への設問

◆ 県土木OBも同様に「道路ネットワークによる地域・拠点の連携」「道の駅による地域活性化」「観光振興の推進」が選択された。また、「民間との連携による道路空間整備」も選択されている。

### 「地域の活性化と豊かな暮らしの実現」の視点で重要と思う施策

※最大5つまで選択

<点数化※>



※1位:5点 2位:4点 3位:3点 4位:2点 5位:1点として算出 17

## 2. アンケート結果（市町村） I-問3 特に重要と思う取組み（自由記述）

### 今後の道路整備を進める上で重要と思われる施策（市町村職員）

分類	主な意見
<p>[県の施策①] 高速道路・地域高規格道路の整備 (14件)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>高速道路整備は流通の核。早期完成を目指し、<u>物流ネットワーク確立</u>に向け整備が必要</li> <li>地域高規格道路とアクセス道路の整備により<u>地域経済へのストック効果を発現させるために早期完成</u>を目指すべき</li> <li>高速道路網の<u>ミッシングリンク解消が地方活性化には不可欠</u>。また、中山間地が多く、生産拠点までの距離があるため、既存の道路の適正な維持又は改築も必要</li> </ul>
<p>[県の施策②] アクセス道・幹線道路の整備 (10件)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>高次医療施設へのアクセス向上、地域・観光・産業振興、緊急輸送道路などの防災機能の強化等の視点も踏まえ、<u>高速道路へのアクセス性を高める幹線道路の整備を推進</u>する必要</li> <li>平成29年度中に供用予定の<u>東北中央道ICへのアクセス道路の整備推進</u>をお願いしたい</li> <li><u>幹線道路ではあるが2車線化されていない</u>、大雨、落雪など災害による通行規制があるなど、これらのことを解消する必要がある</li> </ul>
<p>[県の施策⑥] 安全・安心（住民生活・地域防災） (15件)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>少子化による学校の統廃合により、歩行者の数は少なくなっているが、逆に、<u>高齢者に対する歩道の整備</u>も検討が必要</li> <li><u>通学路等の歩行者・自転車通行空間の安全確保</u>、または、通学路等で使用されている狭隘な県道のバイパス案の検討等は重要</li> </ul>
<p>[県の施策⑨] 既存道路・施設等の活用・維持管理 (9件)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>新規道路の整備よりも<u>既存のインフラの良好な維持管理</u>が重要</li> <li><u>既存の道路施設</u>を使いながら<u>地域内外の人が利用できるような道の駅等の施設</u>を設け、地域活性化ができれば良い</li> <li><u>既存道路の機能等を確実に確保</u>した上で、新たな道路整備等の取り組みが必要</li> </ul>

## 2. アンケート結果(県土木OB) I-問3 特に重要と思う取組み(自由記述)

### 今後の道路整備を進める上で重要と思われる施策(県土木OB)

分類	主な意見
<p>[県の施策①] 高速道路・地域高規格道路の整備 (26件)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>県民生活や産業を支え、地域振興に資する信頼できる道路ネットワークの早期形成・維持していくための<u>高速道路のミッシングリンクの早期解消</u>を図っていく必要がある</li> <li>本県の高速道路の整備は遅れており、<u>隣県の県境ルート(①福島、②宮城、③新潟、④秋田)の整備</u>が緊急課題</li> <li>本県に若者が定着できないことは大きな課題。<u>産業や観光の振興、地域間交流の拡大などに資する高速道路ネットワークの早期形成</u>が最重要</li> <li><u>高速道路の整備で、人的・物的交流の拡大が見込まれ、その先には雇用の確保、所得改善が期待</u>できる</li> </ul>
<p>[県の施策②] アクセス道・幹線道路の整備 (7件)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>高速道路等に接続する<u>アクセス道路・IC等の整備による高速交通ネットワークの利用促進</u></li> <li>高速道路ネットワークを早期実現と、<u>短時間で(10分以内)アクセス出来るような計画</u>が必要</li> <li>県内陸部を縦貫し<u>国道13号と並行する287号や458号の整備促進</u>が必要</li> </ul>
<p>[県の施策⑥・⑦] 安全・安心 (住民生活・防災) (31件)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>近年災害が多発しており、<u>万が一の場合の物流や救助等に必要な道路を整備</u>する必要</li> <li>昨年の熊本地震、阪神淡路大震災の状況をテレビで見たとき、電柱が道路上に倒れ車の通行を塞いでいた。電線による景観的もさることながら、<u>緊急時を考えると電線の地中化</u>が急務</li> <li>東日本大震災で経験したように、<u>大地震時のリダンダンシー確保や緊急輸送道路の耐震化</u>が必要。</li> <li>超高齢化時代の道路整備は、<u>高齢者や弱者にやさしい道路空間確保</u>が大切。</li> </ul>
<p>[県の施策⑨] 既存道路・施設等の維持管理 (27件)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>安全に使い続けるために、<u>道路施設全般の持続性・継続性を考慮した長寿命化</u>が必要。生活道路についても、交通弱者を対象にした施設整備・維持管理施策を希望</li> <li>人口減で予算の縮小が予想されるので、一般道は施設を最小限にし、<u>既存の道路をいかに長く使うか</u>が重要</li> </ul>

# 2. アンケート結果（市町村-全体）

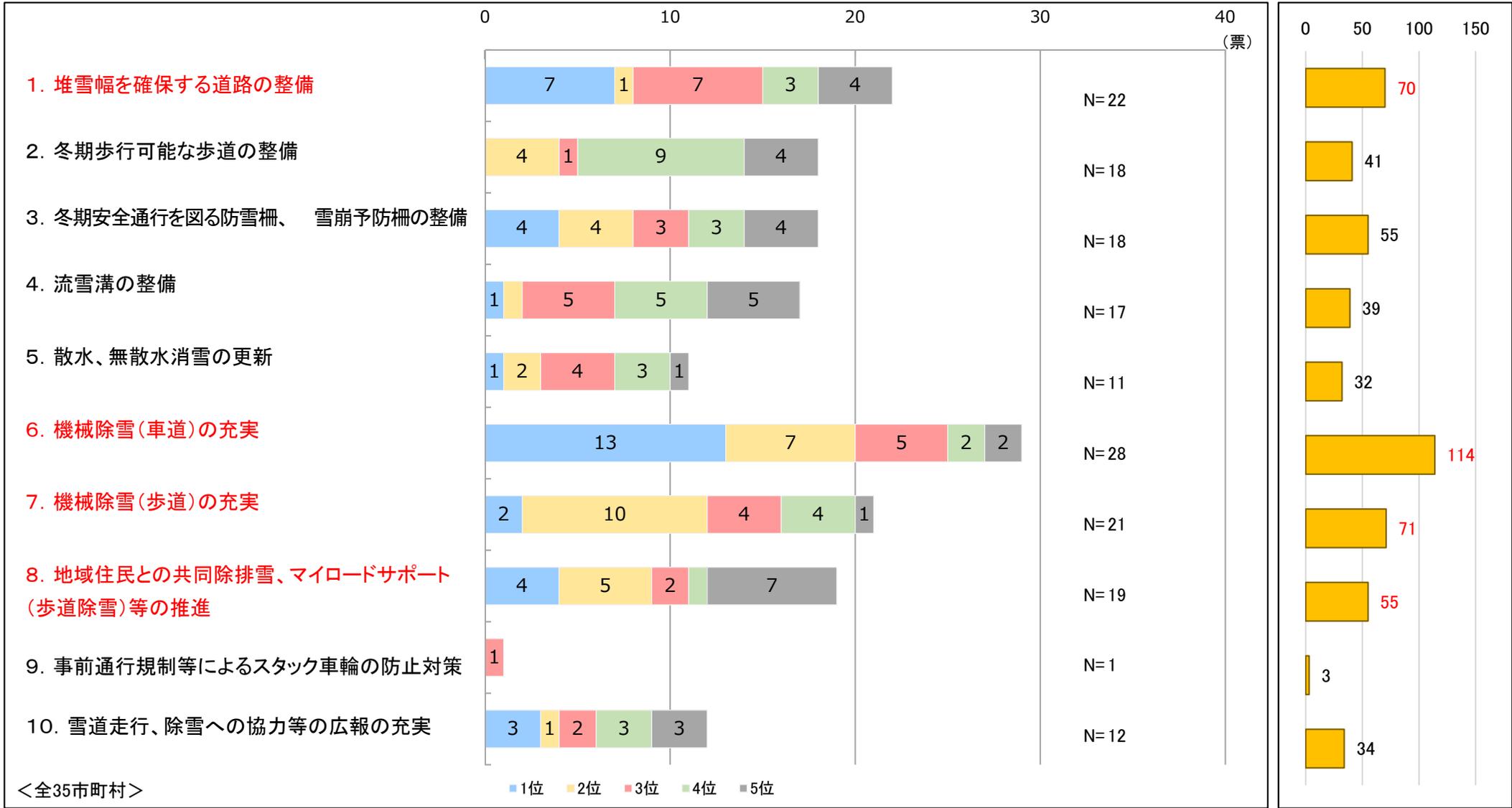
## Ⅱ-問1 冬道対策への設問

◆ 冬期に取り組むべき施策として、「堆雪幅を確保する道路整備」「機械除雪（車道・歩道）の充実」「地域住民との共同除排雪」が選定された。

### 冬期の道路交通対策のうち、特に今後取り組むべき施策

※最大5つまで選択

<点数化※>



<全35市町村>

■1位 ■2位 ■3位 ■4位 ■5位

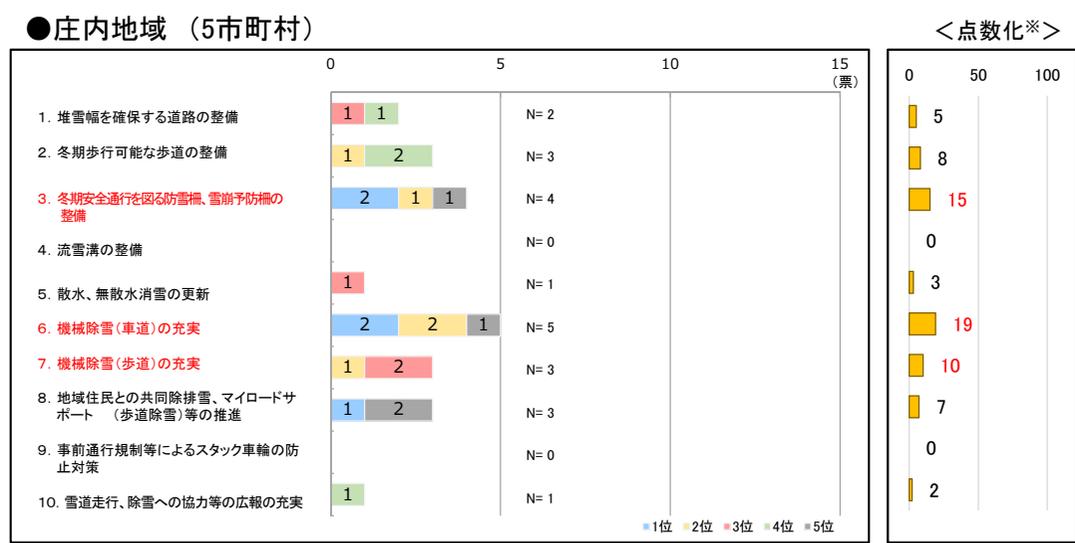
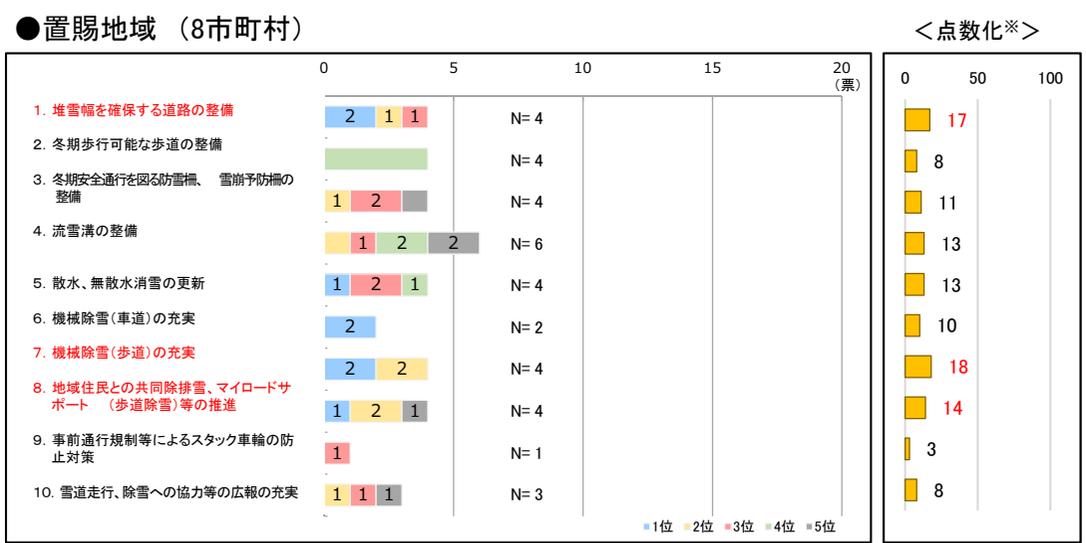
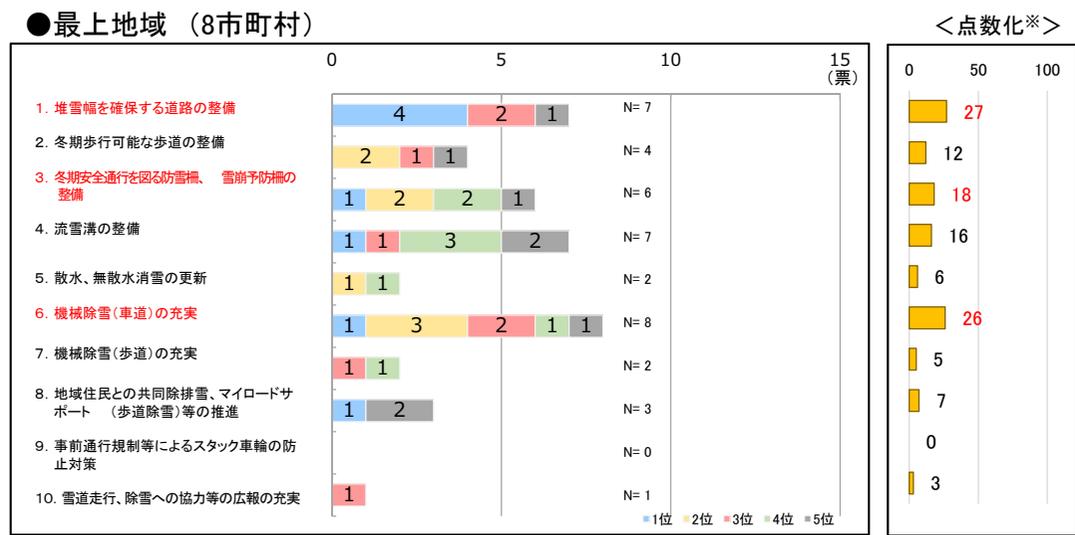
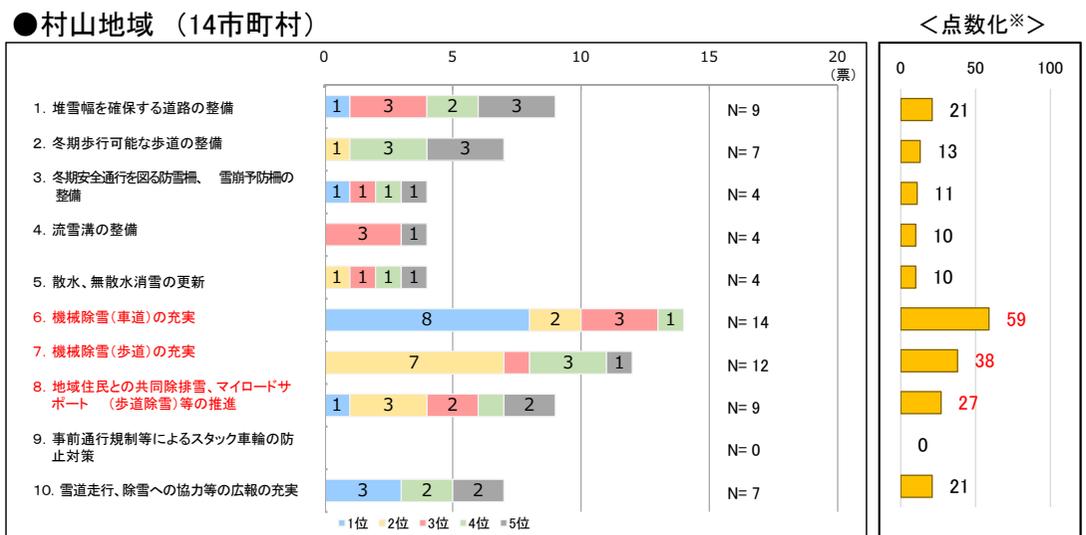
※1位:5点 2位:4点 3位:3点 4位:2点 5位:1点として算出 20

# 2. アンケート結果(市町村-地域別) II-問1 冬道対策への設問

◆ 冬期に取り組むべき施策として、各地域とも「機械除雪の充実」が選ばれ、村山地域では「地域住民との共同除排雪」、最上・置賜地域では「堆雪幅を確保する道路整備」、最上・庄内地域では「安全通行を図る防雪柵、雪崩予防柵の整備」が選ばれた。

## 冬期の道路交通対策のうち、特に今後取り組むべき施策

※最大5つまで選択



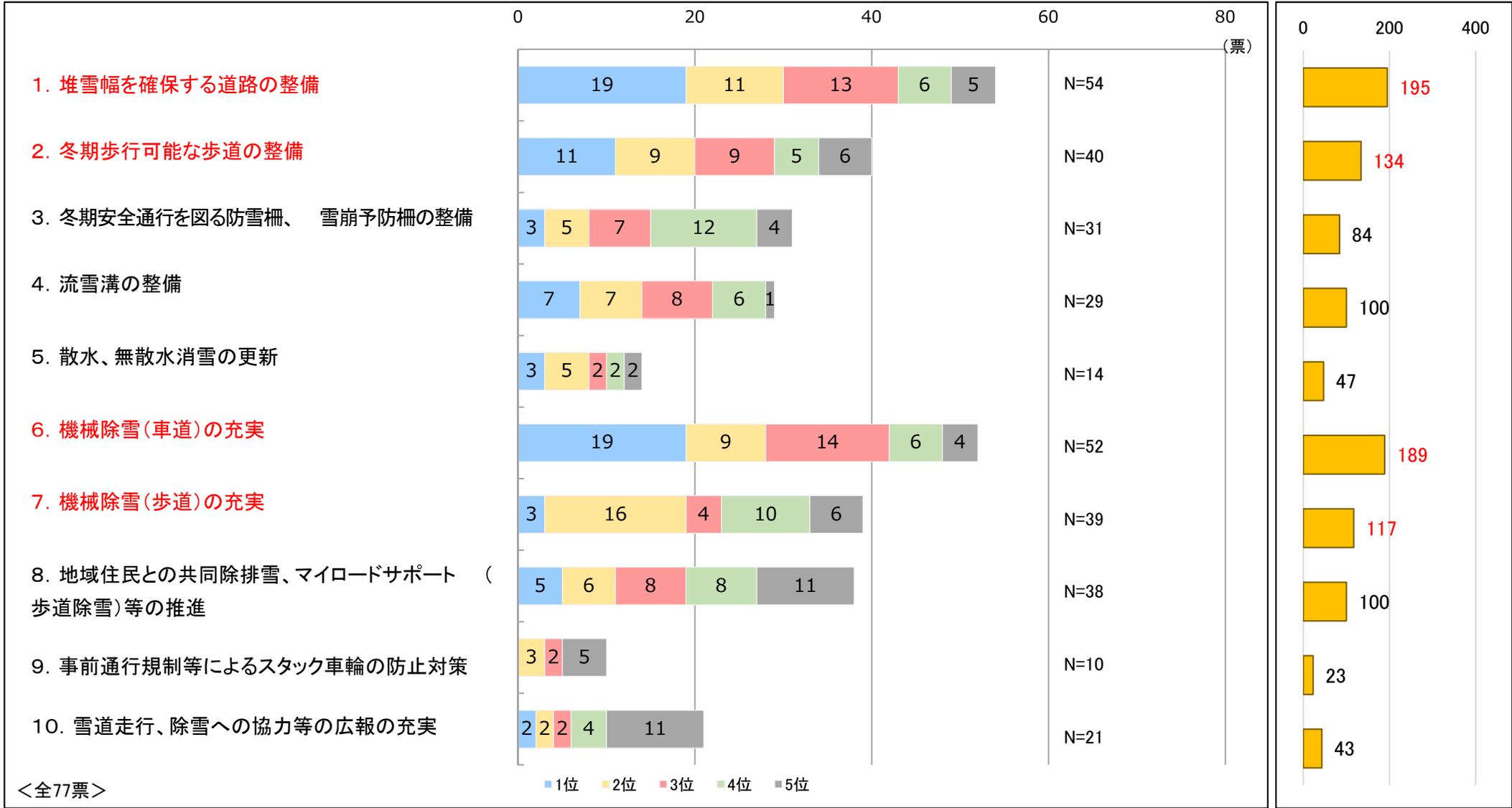
# 2. アンケート結果(県土木OB) II-問1 冬道対策への設問

◆ 県土木OBも同様に「堆雪幅を確保する道路整備」「冬期歩行可能な歩道整備」「機械除雪(車道・歩道)の充実」が選定された。

## 冬期の道路交通対策のうち、特に今後取り組むべき施策

※最大5つまで選択

<点数化※>



※1位:5点 2位:4点 3位:3点 4位:2点 5位:1点として算出 22

## 2. アンケート結果（市町村） II-問2 冬期道路対策について（自由記述）

冬期道路対策について	
分類	主な意見
道路設備（堆雪幅等）の整備 （9件）	<ul style="list-style-type: none"> <li>近年道路沿線の住民から堆雪場所を拒否されることが多く、冬季交通の確保のためには、<b>堆雪幅を十分に確保</b>することが必要</li> <li>冬期間は<b>道路堆雪</b>により、車道を歩く子供や高齢者が見られる。交通弱者の安全を確保するためにも、<b>消雪道路の促進・歩道の除雪</b>が必要</li> <li>機械による除雪が路線延長に対し追いついていない為、<b>機械除雪の充実</b>が必要（機械除雪を補う手段として、無散水消雪や堆雪幅を整備することは有効）</li> </ul>
消雪設備（流雪溝・消雪道路・除雪機） （15件）	<ul style="list-style-type: none"> <li>散水消雪において、老朽井戸の更新がなされず放置が目立つ。冬期間の安全・安心な道路空間を確保するため、雪国の特性に配慮した道路整備、<b>消雪施設の更新</b>等が必要</li> <li><b>散水消雪</b>は家屋の密集している部分に設置されており、機械除雪での対応が非常に困難であることから、水が出なくなったら廃止ではなく、更新していく検討をお願いしたい</li> <li>豪雪地帯であるため<b>流雪溝、防雪柵の設備を充実</b>させることが重要</li> <li>地区の高齢化も進み、家の前の雪処理もままならないのが現状。そのためには、住民の負担を少しでも軽減するために、今以上の<b>きめ細やかな除雪や流雪溝の早期整備</b>が必要</li> </ul>
除雪基準・体制 （6件）	<ul style="list-style-type: none"> <li>近年、除雪作業従業者の減少や除雪車両を維持することが困難な企業も増えてきており、将来的に<b>持続可能な除雪体制の確保が重要な課題</b></li> </ul>
地域連携・協力 （8件）	<ul style="list-style-type: none"> <li>核家族化や高齢化が進んでいることを背景とし、雪国の宿命が考慮されていないような、過度な要望が増加しているように思われる。冬期の道路通行確保のための<b>除雪には住民の理解と協力が必要</b>であり、このことを再認識していただきながら、作業や整備の充実を図るべき</li> <li>一部人家が密集している個所においては、拡幅等もままならないことから流雪溝等の整備が必要であり、これらの整備とともに、<b>住民に理解と協力の意識を持ってもらう取り組み</b>が必要</li> </ul>

## 2. アンケート結果(県土木OB) II-問2 冬期道路対策について(自由記述)

### 冬期道路対策について

分類	主な意見
道路設備(堆雪幅)の整備 (21件)	<ul style="list-style-type: none"> <li>円滑な交通の確保策として<u>堆雪幅確保、安全な通行のための防雪柵等の整備</u>もまだまだ必要</li> <li>冬季可能な歩道の整備について、昔は歩道の機械除雪などを考慮していなかった。時代の経過と共に歩道の除雪要望が多くなり、<u>除雪機械が稼動するのに、最低150cm歩道幅が必要</u>となる。高齢者が多くなり排雪手段の確保は重要</li> </ul>
消雪設備(流雪溝・消雪道路・除雪機) (19件)	<ul style="list-style-type: none"> <li>大雪になると歩道除雪が追いつかなくなる為、<u>小中学校近くの歩道は無散水消雪</u>とすべき。水の出が悪くなった散水消雪井戸の更新を行わないという方針は、地元の意見を聞きとった上で判断すべき</li> <li>街場では<u>洪水対策を兼ねた流雪溝の整備</u>。平地では安心して走行できる道路幅の確保。平地または山地では安全に走行できる防雪柵、雪崩予防柵の整備が必要</li> <li>歩道除雪機の台数が限られているようで、歩道除雪は通学時間までに除雪が完了していない</li> </ul>
除雪基準・体制 (15件)	<ul style="list-style-type: none"> <li><u>除雪技術の向上と、除雪担当者の人材育成</u>が重要</li> <li><u>国、県、市道路との連携した除雪体制</u></li> <li>建設産業の衰退により、建設業者数の減少、重機械のリース化、オペレーターの高齢化など、除雪を取り巻く環境は年々厳しくなっていく。<u>除雪機械を業者からの借上げに頼っている市町村のこれからの除雪が心配</u></li> <li>雪の無いところからやってくる大型トラック等に対する雪道走行の広報活動には限界がある。<u>事前通行規制による通行止は大規模なトラブルを避ける大切な手段</u></li> </ul>
地域連携・協力 (15件)	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域住民が、すべての除雪が管理者の義務と思い込んでいることも多いため、<u>広報の充実</u>が大事</li> <li>町内会の冬期の役割が全く無い。行政と一緒に、<u>除排雪作業を進める体制づくりにPRが必要</u>(高齢化も一つの問題となるが、これは知恵を出し合って乗り切れるものと思う)</li> </ul>

## 2. アンケート結果(市町村) Ⅲ-問1 道路施策全般について(自由記述)

道路施策全般について	
分類	主な意見
交付金・補助金制度 (3件)	<ul style="list-style-type: none"> <li>市町道の<u>生活道路維持に対し、県独自の補助・交付金制度</u>を設けていただきたい。国の交付金制度は、基本的に改築改良済みの道路が対象。昭和40～50年代にかけて市町単独または起債等で整備されたもの及び地域協働で整備された簡易舗装などは現在傷みがひどく、修繕にかかる単独財源も乏しく、パッチング等で凌いでいる現状であるため</li> <li>現在の交付金制度はインフラ長寿命化に重点が置かれており、地域の要望である新設改良には、ほとんど予算が配分されない状況である。インフラ長寿命化も重要だが、<u>道路の安全確保と円滑化、経済基盤の強化、生活環境の保全、都市環境の改善、並びに住生活の安定の確保・向上を図る市町村が行う社会資本整備の取組に対する支援</u>もお願いいたします</li> <li><u>除雪費用か除雪機械の購入に対する助成措置の充実</u>をお願いします</li> </ul>
道路網の整備 (7件)	<ul style="list-style-type: none"> <li>山形市と他市町村のアクセス向上の為、<u>山間部道路のトンネル整備</u>による移動時間の短縮と安全性の向上、人口減少対策にもなる</li> <li><u>主要な都市の中心市街地と主要な観光地を結ぶ路線の整備</u>など、ネットワーク促進</li> <li>県立病院の移転計画とリンクした道路網整備をご検討ください</li> </ul>
道路設備・施設 (2件)	<ul style="list-style-type: none"> <li><u>主要道路の改良整備と交通安全施設の整備、老朽化した橋梁の架け替え</u>と、交通渋滞箇所、集落内を通過している道路のバイパス整備</li> </ul>
その他 (2件)	<ul style="list-style-type: none"> <li>少子高齢化が顕著となり<u>道路の必要性や在り方について見直す時期</u>に来ていると思う。県・市町村全体的な検討の取り組みや勉強会等を少しずつ進めてはどうか</li> <li>事業評価では、時間短縮などの効果に加えて、企業立地の促進・観光振興、広域的な冗長性の確保、高度医療施設へのアクセス向上など、<u>道路が持つ多様な効果を引き続き十分に反映</u>していただきたい</li> </ul>

# 2. アンケート結果(県土木OB) Ⅲ-問1 道路施策全般について(自由記述)

道路施策全般について	
分類	主な意見
高速道路・地域高規格道路 (9件)	<ul style="list-style-type: none"> <li>● <u>月山道路</u>は自動車専用道路として供用されているが、冬期間に雪崩発生等で全面通行止めを余儀なくされる。<u>物流ネットワークとしての機能も十分ではない</u>ため、現在の基本計画区間の格上げを希望</li> <li>● 仙台都市圏となる村山地域(県内で人口を維持しているのは村山地域のみ)の発展のためには、<u>R48の高規格化</u>は必須と考えられる。高齢社会対応として「小さい交通」も考慮すべき</li> <li>● <u>高速道路、地域高規格の早期供用及び着手</u>を強力に推進(ICアクセス・スマートICの整備も)</li> </ul>
既存道路の修繕・維持管理 (11件)	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 正規の車道幅員は確保されているが、<u>右折レーンが無い</u>ため、信号が黄色、赤色に変わる時に無理をするので事故につながる(センターラインの引き方の工夫で、ある程度は解消される箇所もある)</li> <li>● <u>道路維持管理</u>の業務委託は、限られた予算の中で大変な事とは思いますが、<u>僅かな注意や行為で未然に事故等を防止する事が出来る</u>ものと思います(例えば、カーブミラーの傾き、汚れ、歩道路肩の水切、ポットホール穴の穴埋、山間部カーブ内側の草刈等)</li> </ul>
道路設備・施設の新設・管理 (7件)	<ul style="list-style-type: none"> <li>● <u>道路の付属施設の老朽化対策、特に経年久しい橋</u>。使用されなくなった旧道の敷地の再利用</li> <li>● <u>道路幅員構成の見直し</u>(肩路、一方通行)(古い年代に整備した橋梁への歩道設置・市町村へ移動した国県道の歩道改築)</li> <li>● <u>橋梁トンネル等の耐震対策</u>、又は落石雪崩、地上等の危険対策をこれまで以上に実施すべき</li> </ul>
道路網の整備 (14件)	<ul style="list-style-type: none"> <li>● <u>道路事故(豪雪・豪雨)等による、山形県内の孤立化を解消する道路整備</u>。具体的には① 県中央に位置する、国道48号の地域高規格道路としての整備、② 県北に位置する、国道47号(新庄～大崎～石巻)の地域高規格道路としての整備、③ 県南に位置する、国道113号の地域高規格道路としての整備促進、④ 福島県会津と結ぶ、国道121号の観光道路としての整備</li> </ul>
その他 (11件)	<ul style="list-style-type: none"> <li>● <u>R112(月山道)の将来展望の整理</u>(国の方針・県の負担金等を考慮したプライオリティー、当面の現道機能強化の期間・強化水準等)</li> <li>● <u>県職員だけでなく、市町村の職員及び民間人も含めた人材確保</u>が重要。技術的研鑽・向上も計画的かつ継続的に取り組むことが必要。法令・基準等以内で、丈夫かつ維持管理費のかからない、長寿命な道路施設を整備することを期待</li> </ul>

### 3. アンケート結果まとめ① 中期計画で取組みを強化していく必要のある施策(全体)

- ◆ 今後も取組みを強化していく必要のある施策として、市町村・県土木OBとも「高速道路整備」「長寿命化」が選ばれ、現計画においても最優先する施策としている項目が選定されている
- ◆ 主な取組みについても、「高速道路整備」「長寿命化」に関する項目が選ばれているとともに、「通学路等の整備」も上位となっており、人に優しい道路空間の整備も求められている。

#### 引き続き強化していく必要がある施策と主な取組み

	市町村の意見	県土木OBの意見
みちづくり施策 (上位3位)	<ul style="list-style-type: none"> <li>①: 高速道路・地域高規格道路の整備中区間の供用と未着手区間の着手</li> <li>②: 予防保全型維持管理による道路施設の長寿命化</li> <li>③: 生活幹線道路・主要都市間ネットワークの整備推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①: 高速道路・地域高規格道路の整備中区間の供用と未着手区間の着手</li> <li>②: 高速交通ネットワークの形成と連携したICアクセス道路等の整備推進</li> <li>③: 予防保全型維持管理による道路施設の長寿命化</li> </ul>
主な取組み (上位5位)	<ul style="list-style-type: none"> <li>①: 高速道路・地域高規格道路の整備(24票)</li> <li>②: 橋梁・トンネルの長寿命化(22票)</li> <li>③: 通学路等の整備(21票)</li> <li>④: 国道、県道の改築(19票)</li> <li>⑤: 舗装を定期的に修繕し耐用年数を増加(18票)</li> </ul> <p>(全35市町村)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①: 高速道路・地域高規格道路の整備(54票)</li> <li>②: 橋梁・トンネルの長寿命化(36票)</li> <li>③: 定期的な補修を行い、道路施設を効率的に管理(34票)</li> <li>④: 通学路等の整備(28票)</li> <li>⑤: 高速道路へのアクセス道路の整備(27票)</li> <li>⑤: 生活道路や小規模な道路の改築(27票)</li> </ul> <p>(全77票)</p>

### 3. アンケート結果まとめ② 中期計画で取組みを強化していく必要のある施策(地域別)

- ◆ 地域別に見ると、高速道路の整備状況によって異なり、最上・置賜・庄内の3地域では「高速道路整備」が選ばれているのに対し、村山地域では選ばれていない。
- ◆ また、村山・置賜・庄内の3地域で「道路施設の長寿命化」が選ばれるとともに、村山・庄内地域では「人に優しい道路空間」など道路の質的向上に関する項目も選ばれている。

#### 引き続き強化していく必要がある施策

地域	強化していく必要がある施策
村山地域	<ul style="list-style-type: none"> <li>①: 予防保全型維持管理による道路施設の長寿命化</li> <li>②: 生活幹線道路・主要都市間ネットワークの整備推進</li> <li>③: 人に優しい道路空間の整備推進</li> </ul>
最上地域	<ul style="list-style-type: none"> <li>①: 高速道路・地域高規格道路の整備中区間の供用と未着手区間の着手</li> <li>②: 高速交通ネットワークの形成と連携したICアクセス道路等の整備推進</li> <li>③: 一般道路の機能向上の推進</li> </ul>
置賜地域	<ul style="list-style-type: none"> <li>①: 高速道路・地域高規格道路の整備中区間の供用と未着手区間の着手</li> <li>②: 高速交通ネットワークの形成と連携したICアクセス道路等の整備推進</li> <li>③: 予防保全型維持管理による道路施設の長寿命化</li> </ul>
庄内地域	<ul style="list-style-type: none"> <li>①: 高速道路・地域高規格道路の整備中区間の供用と未着手区間の着手</li> <li>②: 予防保全型維持管理による道路施設の長寿命化</li> <li>③: 人に優しい道路空間の整備推進</li> </ul>

### 3. アンケート結果まとめ③ 国が提示した「新たな施策 (H29概算要求資料)」として重要な視点

- ◆ **安全・安心の視点**では「老朽化対策」「防災」「生活道路」など、既に山形県のみちづくり施策として設定されている項目が選ばれた。
- ◆ **生産性向上の視点**では、既存の施策にそもそも無い視点ではあるが、「ネットワークを賢く使う」「物流対策」「ストック効果」が選ばれた。
- ◆ **地域活性化の視点**では、「道の駅」「官民連携」「観光」の視点が選ばれており、これらの施策について、次期中期計画策定に向けての視点として検討していく事が考えられる。

視点	山形県のみちづくり施策に含まれているもの	山形県のみちづくり施策に含まれていないもの (国が提示した新たな視点として選ばれた施策)
国民の安全・安心の確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道路の老朽化対策の本格実施</li> <li>・道路の防災・震災対策</li> <li>・生活道路・通学路の安全対策</li> </ul>	—
生産性向上による成長力強化	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ネットワークを賢く使う</li> <li>・物流対策の推進</li> <li>・ストック効果を高める取組</li> </ul>
地域活性化と豊かな暮らしの実現	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道路ネットワークによる地域・拠点の連携確保</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「道の駅」による地域活性化の推進</li> <li>・民間との連携による道路空間の魅力向上</li> <li>・観光振興の推進</li> </ul>

・その他、国の施策には盛り込まれていない『雪対策』の重要性については、全市町村およびアンケート回答したOBの多くが認識



今後も引き続き雪国「やまがた」としての対策が必要